ユーザーガイド



Gateway NE56R/NE51B

目次

Copyright © 03/2012.
無断複製を禁止します。

Gateway NE56R/NE51B ユーザーガイド
初版 : 2012 年 3 月 2 日

registration.gateway.com で Gateway 製品登録をしていただくことによって､安全に、より快適に製品をお使いいただけます。

備考 : このガイドに示すすべての画像はあくまでも参考用です。実際の構成とは異なる場合があります。

コンピュータの起動

Gateway 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

このガイドにはコンピュータの機能と使い方が記載されています。

セットアップ手順に示されているとおりにコンピュータをセットアップして起動すると、インターネットへの接続に役立ついくつかの質問が尋ねられます。その後、コンピュータはインストール済みソフトウェアを設定します。

ワイヤレス LAN 機能

ワイヤレスネットワークに接続するには、まず、コンピュータのワイヤレス機能がオンになっていることを確認し、接続先のルーターまたはモデムも正しく設定されていることを確認してください。

- ワイヤレスがオンになっていない場合は、ワイヤレス通信キー( )を押して *Launch Manager* を開き、Wi-Fi が**オン**になっていることを確認します。
- 使用可能なネットワークをコンピュータが検出して表示します。ネットワークを選択し、必要であればパスワードを入力します。
- しばらくすると、コンピュータはインターネットに接続します。

ネットワークが検出されないか、またはコンピュータがインターネットに接続しない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはルーターのマニュアルを参照してください。コンピュータが起動し、コンピュータを使用できる状態になったら、Internet Explorer を開き、画面の指示に従ってください。

または、ネットワークケーブルを使用して直接ルーターのネットワークポートに接続します。インターネットサービスプロバイダまたはルーターのマニュアルを参照してください。

登録

初めてコンピュータをお使いになる際は、コンピュータを登録されるようお薦めします。ユーザー登録をされた方は、以下のような特典をお受けいただけます。

- Gateway コミュニティのメンバー : プロモーション情報のお届け、お客様アンケートへのご参加。
- Gateway から最新ニュースをお届け。

登録方法

コンピュータを初めて起動すると、登録を促す画面が表示されます。情報を入力し、**[次へ]**をクリックしてください。次の画面には、お客様に合わせてカスタマイズしたサービスを提供できるように、必要な情報をご記入いただくオプションのフィールドが含まれています。

その他のオプション

Gateway 製品の登録は、**registration.gateway.com** でも受け付けております。お住まいの国を選択し、画面の指示に従ってください。

ユーザー登録が完了すると、重要な情報が記載された確認のための電子メールをお届けします。この情報は大切に保管してください。

ソフトウェアのインストール

コンピュータが自動的にソフトウェアをインストールし、コンピュータを使用する準備をします。この作業には時間がかかりますが、インストールが完了するまでコンピュータの電源を切らないでください。

復元

できるだけ早くリカバリーディスクを作成してください。Gateway Recovery Management プログラムを使用すると、リカバリーディスクを作成し、Gateway が提供するアプリケーションおよびドライバを復元または再インストールできます。

問題が発生した場合

Gateway は購入品のサポートにいくつかのオプションを用意しています。

Gateway サポート

コンピュータのシリアル番号、購入日時、購入場所、モデル名をこのガイドの表紙に書き留めておいてください。購入証明(レシート)を保管しておいてください。弊社に電話にてお問い合わせになる場合は、問題発生時に表示されたエラーメッセージをメモしておき、可能であればコンピュータの電源を入れた状態でお手元にご用意ください。このようにしていただくことにより、より迅速なサービスをお届けすることが可能になります。

Gateway Web サイト

www.gateway.com をご覧ください。「サポート」セクションには、最新の情報、ヘルプ、ドライバ、ダウンロードがあります。

保証および連絡先情報

保証書には本コンピュータの保証条件と、テクニカルサポートの連絡先が記載されています。

コンピュータの基礎

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために

安全のためのご注意

コンピュータを快適な状態でお使いいただき､健康や身体への影響を防止するために､次の注意事項に従ってください。

コンピュータ環境

コンピュータをご使用になる場合は、次の点に注意してください。

- 安定したスタンドかテーブルの上でお使いください。コンピュータを落とすと、コンピュータに深刻な損傷を与える恐れがあります。
- 振動の強い場所ではご使用にならないでください。またスポーツ、エクササイズ、その他動きの激しい環境での動作に使用することはできません。振動や激しい動きにより、止め具が緩んだり、内部パーツが破損したり、バッテリーの液漏れを生じたりする可能性があります。
- 直射日光を避け、また熱を発する機器から離してください。
- 磁場または静電放電を発生させる機器から離してください。
- 携帯電話からは 30 センチ以上離してください。
- ホコリの多い環境、または湿っぽい環境では使用しないでください。
- 水場の近くでは使用しないでください。コンピュータに液体をこぼさないでください。
- カーペットや､その他電荷を持ちうる場所にコンピュータを設置しないでください。

ご注意

- スロットおよび通気孔は、本製品を確実に動作させ、過熱を防ぐための通気用に設けられています。通気孔を塞いだり、もので覆ったりしないでください。通気孔を塞いでしまう可能性がありますので、本製品をベッド、ソファなどの不安定な場所に設置しないでください。本製品を暖房器具の近くや上に設置したり、適切な通風が保証されないかぎり棚に設置したりしないでください。
- 本製品のスロットに異物を押し込まないでください。高圧で危険な個所に触れたり部品がショートし、火災や感電の原因となり大変危険です。本製品に液体をこぼさないでください。
- 内部パーツの損傷およびバッテリーの液漏れを防ぐために、本製品は必ず安定した場所に設置してください。
- 本製品を振動の強い環境で使用しないでください。予期せぬ電源ショートや、ルーター装置、HDD、光学ドライブの故障の原因となり、リチウムバッテリーが爆発する危険性もあります。

ケーブル

次のことを確認してください。

- ケーブルを引っ張り過ぎていないこと、また人が踏んだり、躓いたりしないこと。
- その他の機器でケーブルが押しつぶされていないこと。
- 電源ケーブルをコンセントに接続する前に、コンピュータに接続してあること。
- コンピュータから電源ケーブルを外す前に、コンセントから抜いておくこと。
- 3 ピン電源コードが、アースされたコンセントに接続されていること。
- コンセントが簡単に手の届く場所にあり、コンピュータにできるだけ近いこと(アダプターを接続しすぎて負荷がかかりすぎないように注意してください)。

外付け AC アダプターを使用するコンピュータの場合：

- AC アダプターを覆ったり、その上にものを置いたりしないでください。

- アダプターを使用中に適切に冷却されるように、アダプターの周りにものを置かないでください。
- 本コンピュータ専用の AC アダプターだけをご使用ください。他にも外観が似たアダプターはありますが、それらをご使用になるとコンピュータの故障の原因となります。交換が必要な場合は、本製品用に認可されたパーツだけをご使用ください。

コンピュータのお手入れ

- お手入れを開始する前に、必ずコンセントからコンピュータのコードを抜いてください。
- 液体クリーナーやエアゾールクリーナーのご使用は避けて、湿らせた布をご使用ください。
- 画面に直接クリーニング剤を吹きかけないでください。
- コンピュータに液体をこぼしてしまった場合は、直ちにコンピュータの電源を切り、AC アダプターを外し、バッテリーを取り出して、コンピュータが完全に乾ききったことを確認した上で、再び電源を入れてください。必要であれば、一晩中電源を入れずに置いてください。



注意：メモリカードまたは拡張デバイス用のスロットが搭載されたコンピュータには、カードスロットにプラスチック製のダミーカードが挿入されている場合があります。このダミーカードは使用されていないスロットにホコリや金属の異物、その他粒子などが入るのを防止するために挿入されています。このダミーカードはスロットを使用しないときのために保存しておいてください。

コンピュータの補修

コンピュータのカバーを開けたり、外したりすると、高電圧が流れていたり、その他の危険性があるため、絶対にお客様ご自身でコンピュータを補修しないでください。補修が必要な場合は、正規のカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

次のような場合は、コンピュータのコードをコンセントから抜き、正規のカスタマーサービスセンターに補修を依頼してください。

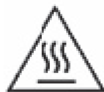
- 電源コードまたはプラグが破損、擦り切れ、磨耗している場合。
- コンピュータに液体がこぼれた場合。
- コンピュータが雨や水にさらされてしまった場合。
- コンピュータが落下した、またはケースが破損した場合。
- コンピュータの性能が著しく変化した場合。
- 操作の手順に従っても、コンピュータが正常に作動しない場合。


注意：操作の手順が記載されているコントロールしか調整できません。その他のコントロールを不正に調整すると故障の原因となり、さらには専門技術者による補修が必要となりかねません。

健康に関するご注意

- 底部、通気孔周囲、AC アダプターは高温になることがあります。火傷を防ぐために、これらの個所に触れないでください。
- 本製品とアクセサリ類には、小さいパーツが含まれています。これらのパーツは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- このコンピュータとアクセサリ類には、小さいパーツが含まれています。これらのパーツは、お子様の手の届かない場所に保管しておいてください。
- 長時間コンピュータを操作される場合は、定期的に休憩を取ってください。ときどきコンピュータ画面から目を離してください。疲れているときには、コンピュータをご使用にならないでください。
- 自然で楽な姿勢で操作できるように、コンピュータを配置してください。頻繁に使用するアイテムは、手の届きやすい場所に置いてください。
- 安全、快適に使用できるように、コンピュータは真正面に設置してください。キーボードとタッチパッドは快適な高さに確実に設置してください。画面と目の距離は、約 45～70cm に保ってください。机に座って長時間コンピュータを使用する場合、快適性を向上するには外付けキーボードを購入してください。

- 聴覚を保護するために、スピーカーやヘッドフォンを使用する場合は、適度なレベルになるまで徐々に音量を上げてください。耳が慣れた後は、音量を上げないでください。長時間大音量で音楽を聴かないでください。周囲のノイズを遮断しようとして音量を上げないでください。近くで人が話している声が聞こえない場合は、音量を下げてください。
- コンピュータを使用している間は、コンピュータの底部、電源アダプター、通気孔からの空気が非常に熱くなります。身体の一部がこれらに長時間触れないようにしてください。コンピュータを操作する場合は、膝の上に載せて操作することはお止めください。



- コンピュータの通気孔を塞いだり、もので覆ったりしないでください。
- 通気孔を塞いでしまう可能性がありますので、コンピュータを柔らかい面(カーペット、イス、ベッドなど)の上に設置しないでください。
- 通気孔やケーススロットに異物を押し込まないでください。異物が高電圧部分に触れたり、パーツがショートしたりすると、火災や感電の原因となり大変危険です。
- 手、手首、腕、首、肩、足、背中などの障害によっては、連続的に行う動作に関連するものであったり、症状を悪化させたりする場合があります。このような障害を誘発しないように、手首はまっすぐに、手と手首はキーボードからやや浮かせて入力してください。長期間痛みを感じる、チクチクする、麻痺する、あるいはこれら以外の症状がある場合は、医者の指示に従ってください。
- お子様がゲームをする場合は、ご両親が時間を決められるようお薦めします。次のような症状がある場合：眩暈、視野がぼける、目や筋肉がつる、気を失う、見当識障害、不随意運動、痙攣がある場合は、直ちにコンピュータの使用を止めて、医者の指示に従ってください。このような症状は、癲癇の病歴がない方にも起こり得ます。

コンピュータについて

セットアップの手順に従ってコンピュータをセットアップしてください。Gateway コンピュータの各パーツの名称および使い方については、以下を参照してください。



Gateway NE56R/NE51B

上面- 画面



#	アイコン	アイテム	説明
1		WEB カメラ	ビデオ通信用の WEB カメラです。 WEB カメラの使用中は、WEB カメラの横のランプが点灯します。
2		ディスプレイスクリーン	液晶ディスプレイ(LCD)とも呼ばれ、コンピュータ出力を表示します。
3		マイクロフォン	録音用の内部マイクロフォンです。

上面- キーボード



#	アイコン	アイテム	説明
1	⏻	電源ボタン/ランプ	コンピュータの電源をオン/オフにします。コンピュータの電源がオンのときに点灯します。
2		キーボード	コンピュータにデータを入力します。 - 特殊キーについては 15 ページを参照してください。
3		タッチパッド	指を触れることで反応するポインティングデバイスで、マウスと同様に機能します。

4	クリックボタン(左、右)	左右のボタンは、左および右の選択ボタンとして機能します。
5	スピーカー	オーディオを出力します。

特殊キー

コンピュータのキーボードには、別の機能を有効にするキーが含まれています。各キーの機能はアイコンで明示されています。

アイコン	アイテム	説明
Fn	第 2 機能のホットキー	特定のキーの第 2 機能を有効にします。 *例えば、Fn キーを押してF1 からF12 までのキーを有効にします。*
?	ヘルプ	[ヘルプ]メニューが開きます。
	バックアップ	コンピュータのバックアップコピー(システム全体または選択したファイルとフォルダのいずれか)を作成できます。定期的に予定を組むか、または、必要なときにいつでもコピーを作成できます。
	ワイヤレス通信キー	ワイヤレス通信機器を有効/無効にします。
	ディスプレイの切り替え	ディスプレイ出力を、ディスプレイ、外付けモニタ(接続されている場合)、またはその両方に切り替えます。
	ディスプレイオフ	ディスプレイのバックライトをオフにしてスタンバイにします。任意のキーを押すとバックライトはオンになります。

アイコン	アイテム	説明
	タッチパッドオン/オフ	内蔵タッチパッドをオン/オフにします。
	再生/一時停止	選択したメディアファイルを再生または一時停止します。
	中止	選択したメディアファイルの再生を中止します。
	戻る	前のメディアファイルに戻ります。
	次へ	次のメディアファイルに移動します。
	輝度を下げる	画面の明るさが下がります。
	輝度を上げる	画面の明るさが上がります。
	ソーシャルネットワーク	ソーシャルネットワークアプリケーションを開きます。 - *このアプリケーションがインストールされていない場合は、代わりにインスタントメッセージアプリケーションが開きます。*
	音量を上げる	音量を上げます。
	音量を下げる	音量を下げます。
	スピーカーオン/オフ	スピーカーをオン/オフにします。

ホットキー

このコンピュータは、ホットキー(2 つ以上のキーの組み合わせ)を使用して機能キーおよびナビゲーションコマンドにアクセスします。

ホットキーを利用するときには、Fn キー(左下)を押したまま、ホットキーの組み合わせとなるもう 1 つのキーを押します。

ホットキー	機能	説明
Fn +特殊キー (15 ページを参照)	機能キー	F1 から F12 までのキーを有効にします。
Fn + <	Home	文章の先頭までスクロールします。
Fn + >	End	文書の末尾までスクロールします。
Fn + ∧	PageUp	文書で 1 ページ分上へスクロールします。
Fn + ∨	PageDown	文書で 1 ページ分下へスクロールします。

- *注意：コンピュータの起動時または BIOS 使用時に F1 から F12 までの機能キーを使用するときは、Fn キーを押す必要はありません。*
  *F1 から F12 までのキーのホットキーと別の機能を交換するには、BIOS で機能キー設定を変更します(BIOS を開くには、コンピュータの起動時に **F2** を押してから**メインメニュー**を選択し、**[Function key behavior]** を **[Function keys]** に変更します)。*

タッチパッド

タッチパッドは、画面上の矢印(ポインターまたはカーソルと呼ばれる)を制御します。タッチパッド上で指を滑らせると、ポインターは指の動きについていきます。

マルチジェスチャ

タッチパッドはマルチジェスチャコマンドに対応しており、複数の指を使用したパターンを認識できます。これにより、いくつかの簡単なジェスチャでアプリケーションを制御できます。



- **ピンチ**:親指ともう 1 本の指を使用した簡単なジェスチャで、写真、マップ、および文書

をすばやくズームインおよびズームアウトします。

- **フリップ** : 2 本の指を横に滑らせることにより、写真、Web サイト、または文書を閲覧します。
- **回転** : 1 本の指を軸にしてもう 1 本の指を回転させることにより、写真または PDF ファイルを 90 度ずつ回転させます。
- **スクロール** : 2 本の指を縦に動かすことにより、Web ページ、文書、および音楽再生リストなどを簡単に見ることができます。

正面



#	アイコン	アイテム	説明
1	MULTIMEDIACARD SD xD PRO	マルチインワンカードリーダー	Secure Digital (SD)、MultiMediaCard (MMC)、Memory Stick™ (MS)、Memory Stick PRO (MS PRO)、xD- Picture Card (xD)に対応しています。 - *カードの取り出し/装着を行うには、カードを押します。一度に 1 枚のカードしか操作できません。*
2		電源ランプ	コンピュータの電源がオンのときに点灯します。

	バッテリーランプ	バッテリーが充電されているときに点灯します。 - *充電中 : バッテリーを充電している間、ランプは琥珀色に点灯します。* - *完全に充電 : AC モードではランプは青色に点灯します。*
	ドライブアクセスランプ	ハードディスクドライブがアクティブになると点灯します。
	ワイヤレス通信ランプ	コンピュータのワイヤレス通信装置がオンのときに点灯します。

- *注意 : 前面パネルのランプは、サイドパネルが閉じた状態でも見えるようになっています。*

左面



#	アイコン	アイテム	説明
1		DC 入力ジャック	コンピュータの AC アダプターに接続します。
2		Ethernet (RJ-45)ポート	Ethernet 10/100/1000 ベースのネットワークに接続します。

3		通気孔と冷却ファン	コンピュータを冷却します。 - *通気孔を塞いだり、ものを詰め込んだりしないでください。*
4		外部ディスプレイ (VGA)ポート	ディスプレイデバイスに接続します(外付けモニタ、LCD プロジェクターなど)。
5	HDMI	HDMI ポート	高性能デジタル映像出力機器の接続に対応します。
6		USB ポート	USB デバイスに接続します。 - *黒いポートの場合は USB 2.0 に対応し、青いポートの場合は USB 3.0 にも対応します(下記参照)。*
7		マイクロフォンジャック	外部マイクロフォンに接続します。
		ヘッドフォン/スピーカージャック	オーディオラインアウトデバイス(スピーカー、ヘッドフォンなど)に接続します。 - *マイクロフォン内蔵の互換性がある 3.5mm ヘッドセット(Acer スマートハンドヘルドヘッドセットなど)に対応しています。*

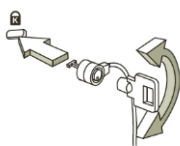
USB 3.0 に関する情報

- USB 3.0 以前のデバイスに対応しています。
- 最適性能を実現するには、USB 3.0 認定のデバイスを使用してください。
- USB 3.0 (SuperSpeed USB)規格によって定義されます。

右面



#	アイコン	アイテム	説明
1	![USB]	USB ポート	USB デバイスに接続します。 - *黒いポートの場合は USB 2.0 に対応し、青いポートの場合は USB 3.0 にも対応します(下記参照)。*
2		光学ドライブ	内蔵光学ドライブです(CD や DVD などに対応)。
3		内蔵ドライブ アクセスランプ	光学ドライブが使用中のときに点灯します。
4		光学ドライブ 取り出しボタン	ドライブから光学ディスクを取り出します。
5		非常時ディスク 取り出し穴	コンピュータの電源がオフのときに光学ドライブトレイを取り出します。 - *ペーパークリップをまっすぐに伸ばしてゆっくりと挿入すると、光学ドライブが出てきます。*

6		盗難防止用 ロックスロット 	Kensington 対応盗難防止用ロックスロットに接続します。 - *盗難防止用ロックのケーブルをテーブルやロックした引き出しの取っ手などの動かないものにつないでください。* *盗難防止用ロックスロットにロックを挿入してキーをまわし、ロックを固定してください。* *キーを使用しないモデルもあります。*

USB 3.0 に関する情報

- USB 3.0 以前のデバイスに対応しています。
- 最適性能を実現するには、USB 3.0 認定のデバイスを使用してください。
- USB 3.0 (SuperSpeed USB)規格によって定義されます。

底面



#	アイコン	アイテム	説明
1		バッテリーイジェクトレバー	バッテリーを取り出します。 取り出すには、適切なツールを挿入してスライドさせます。
2		メモリスロット	コンピュータのメインメモリを格納します。
		ハードディスクベイ	コンピュータのハードディスクを格納します(ネジで固定)。
3		バッテリーベイ	コンピュータにバッテリーを格納します。
4		通気孔と冷却ファン	コンピュータを冷却します。 - *通気孔を塞いだり、ものを詰め込んだりしないでください。*

コンピュータのアップグレード

オプションを使った拡張

このコンピュータは、完全なコンピューティングを実現するためのオプションが数多く用意されています。

接続オプション

ポートには多くの周辺機器を接続できます。各周辺機器の接続については、オンラインガイドをご参照ください。

メモリカードリーダー

メモリカードはデジタルカメラ、PDA、MP3 プレーヤー、携帯電話といった広い選択の中で使用されています。



メモリカードの挿入

1. コネクタを下向きに、コネクタポイントをポート側に向けてカードを持ちます。
2. カードをゆっくりとポートに挿入します。カードが上手く挿入できない場合は、カードの向きを少しだけずらしてみてください。
3. カチッという音がするまでカードをしっかりと押し込みます。カードの先が若干スロットからはみ出ますが、これは正常な状態です。
   カードにファイルが含まれている場合は、Windows 自動再生画面が開き(カードのコンテンツによります)、プログラムを使ってカードのコンテンツにアクセスするかどうかを質問する場合があります。適切なオプションがある場合はここで選択します。それ以外の場合は、キャンセルを選択してください。カードにデータが含ま

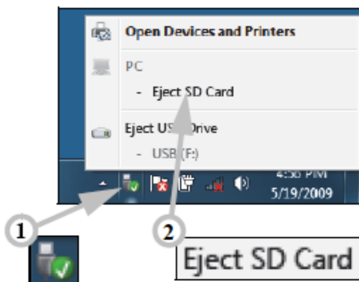
れていない、あるいは不明なファイルがある場合は、カードのコンテンツが表示されます。

SD、SDHC、SDXC カード

SD カードは全体的な設計こそ変わりませんが、タイプによってその容量が異なります。SD カードは最大 4GB、SDHC カードは最大 32GB、SDXC カードは最大 2048GB (2TB)のデータを格納できます。このコンピュータには SDHC または SDXC に対応するカードリーダーが搭載されています。

メモリカードリーダーからカードを取り出す

1. 通知領域(時計の横)の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックしてください。
2. [SD カードの取り外し](またはデバイスの名前)をクリックします。
3. [ハードウェアを安全に取り外すことができます]というメッセージが表示されるまでお待ちください。
4. カードを取り出します。



内蔵ネットワーキング



内蔵ネットワーキングを使って、Acer ノートブックコンピュータをイーサネットベースネットワークに接続することができます。

コンピュータの筐体の Ethernet (RJ-45)ポートから LAN ケーブルジャック、またはネットワークスイッチに Ethernet ケーブルを接続します。

USB



USB ポートは、システムリソースを使わずに USB デバイスを使用することを可能にする高速シリアルバスです。

一部のコンピュータには USB 3.0 ポートが付いています。これらは標準の USB ポートに似ていますが、これらには内部コネクタがあり、青いコネクタです。これらのポートには USB 3.0 対応デバイスを接続し、高速転送を利用することができます。

ビデオポート

VGA または DVI ポートが付いたモニタに接続します(サポートされる接続タイプは、コンピュータの構成により異なります)。通常はモニタに適切なケーブルが付いています。

次の手順に従って、モニタとコンピュータを接続してください。

1. コンピュータとモニタの電源が切ってあることを確認してください。
2. ビデオケーブルをコンピュータのモニタポートに接続します。付属のネジでケーブル接続を固定します。
3. モニタの電源ケーブルを接続し、コンセントに差し込みます。

4. モニタのユーザーガイドに記載される手順に従ってください。
5. モニタの電源を入れた後で、コンピュータの電源を入れてください。
6. 現在の解像度とリフレッシュレートが､モニタの仕様を超えないように注意してください。必要であれば、コンピュータのディスプレイ設定を変更してください。

   注意：ディスプレイのコントロールを調整するには：[スタート]､[コントロールパネル]､[デスクトップのカスタマイズ]をクリックしてください。[画面]カテゴリーをクリックし､[画面の設定を変更]タブを選択します。

HDMI (特定のモデルのみ)



HDMI (High-Definition Multimedia Interface)は業界がサポートする未圧縮のオールデジタルオーディオ/ビデオインターフェイスです。HDMI はセットトップボックス、DVD プレーヤー、A/V 受信装置などの対応するデジタルオーディオ/ビデオソースと、デジタル TV などの対応するデジタルオーディオ/ビデオモニタを 1 本のケーブルで繋ぐインターフェイスです。

コンピュータの HDMI ポートを使ってハイエンドオーディオ/ビデオ装置に接続してください。1 本のケーブルで接続できますのでコンピュータ周りをすっきりと維持し、すばやく接続することができます。

ヘッドフォンとマイクロフォン

これら 2 つのポートには、オーディオ機器を接続します。ヘッドフォンポートにはステレオヘッドフォンやスピーカーを接続します。ヘッドフォンポートにオーディオ機器を接続すると、内蔵スピーカーは無効になります。マイクロフォンポートには外部マイクロフォンを接続します。外部マイクロフォンを接続すると、内蔵マイクロフォンは無効になります。

電源

AC 電源アダプター

このコンピュータは、付属の外付け電源アダプターを使って AC 電源に電力を提供することができます。電源ケーブルは、コンピュータを購入された国で使用されるタイプのものが付いています。

電源アダプターはコンピュータを起動するのに十分な電源を提供し、同時にバッテリーを充電します。



注意: AC アダプターを覆ったり、その上にものを置いたりしないでください。そうしなければ、使用中にアダプターが適切に冷却されなくなってしまいます。

本コンピュータ専用の AC アダプターだけをご使用ください。他にも外観が似たアダプターはありますが、それらをご使用になるとコンピュータの故障の原因となります。

警告：長時間コンピュータをご使用になると、AC アダプターとコンピュータの底部が過熱します。これは正常な現象ですが、長時間に亘って身体を触れたままにすると火傷の原因となります。

バッテリー

本コンピュータは長時間使用できるバッテリーを使用します。

バッテリーの特徴

バッテリーには次のような特徴があります。

- 現在のバッテリー技術規格を採用
- 低残量を警告

バッテリーはコンピュータに AC アダプターを接続すると充電されます。このコンピュータは、使用中に充電することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く完了することができます。

バッテリーを使用すると移動中、または停電中でもコンピュータを操作することができます。バックアップのために、完全に充電したバッテリーを予備に用意されるようお薦めします。 予備のバッテリー購入については、販売店にお問い合わせください。

バッテリーの寿命を延長するには

他のバッテリーと同様、このコンピュータのバッテリーは使用を重ねる毎に品質が低下していきます。つまりバッテリーを充電できる量が徐々に少なくなっていきます。

バッテリーの寿命を延長するには、下記の点に注意してください。

新しいバッテリーのコンディション調整

最初にバッテリーをお使いになる前に、バッテリーの「コンディション調整」を行う必要があります。

1. コンピュータの電源を切った状態で新しいバッテリーを挿入します。
2. AC アダプターを接続し、バッテリーを完全に充電します。
3. AC アダプターを外します。
4. コンピュータの電源を入れて、バッテリーでコンピュータ操作を行います。
5. バッテリーを完全に放電します。
6. AC アダプターを接続し、再びバッテリーを完全に充電します。

この手順にしたがって、バッテリーの充電と放電を 3 回繰り返します。

新しいバッテリーを購入された場合、あるいは長時間バッテリーを使用していない場合は、このコンディション調整を行ってください。コンピュータを 2 週間以上使用しない場合は、バッテリーを取り外しておいてください。

警告： バッテリーを長時間 0 ℃ 以下、または 45 ℃ 以上の環境に放置しないでください。極度な環境では、バッテリーに著しい影響を与える恐れがあります。

バッテリーのコンディション調整を行い、バッテリーをできるだけ長期間使用できるように整えてください。この調整を行わなければ、バッテリーの充電可能回数が少なくなり、寿命も短くなります。

また次のような使用パターンは、バッテリーの寿命に影響します：

- バッテリーを挿入したままで常に AC 電源を使用する。常に AC 電源を使用したい場合は、バッテリーを完全に充電した後、外しておくようお薦めします。
- 上記で説明した方法で極端な充電と放電を行わない。
- 頻繁に使用する。バッテリーは使えば使うほど、寿命が短くなります。
  標準的なコンピュータバッテリーは、約 300 回充電することができます。

バッテリーの交換

本製品はリチウムバッテリーを使用しています。バッテリーを交換する場合は、製品に内蔵しているバッテリーと同じタイプのものをご使用ください。タイプの異なるバッテリーを使用されますと、火災または爆発の危険が生じます。

警告：バッテリーを誤って使用されますと、爆発する恐れがあります。バッテリーを分解したり、火に投げ入れたりしないでください。バッテリーは、お子様の手の届かない場所に保管してください。使用済みバッテリーを破棄する場合は、お住まい地域の規定に従ってください。

バッテリーの取り外しと取りつけ

重要! コンピュータを続けて使用したい場合は、バッテリーを取り外す前に必ず AC アダプターを接続してください。 そうでない場合は、まずコンピュータの電源を切ってください。

バッテリーの装着：

1. バッテリーを開いたバッテリーベイに合わせます。バッテリーのコネクタ部分を先に、バッテリーの上面が上を向くように挿入してください。
2. バッテリーをバッテリーベイにスライドさせ、バッテリーがしっかりとロックされるようにやさしく押してください。

バッテリーの取り外し：

1. バッテリーイジェクトレバーをスライドさせてバッテリーを外します。
2. バッテリーをバッテリーベイから取り出してください。

バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、まずバッテリーが正しくバッテリーベイに挿入されていることを確認してください。AC アダプターをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。バッテリーを充電している間も AC 電源を使ってコンピュータ操作を継続することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く完了することができます。

> *注意： 1 日の終わりにバッテリーを充電されるようお薦めします。*
> *長距離の移動の前に一晩中バッテリーを充電しておくと、翌日バッテリーが完全に充電された状態で作業を開始することができます。*

バッテリー残量の確認

Windows の電源メーターに現在のバッテリー残量が表示されます。 タスクバー上のバッテリー/電源アイコンにマウスカーソルを合わせると、バッテリーの残量が表示されます。

バッテリーの寿命を最適化する

バッテリーの寿命を最適化すると、充電/ 放電サイクルを延長させ、効率良く充電することができるようになります。 次のアドバイスにしたがってください。

- 予備のバッテリーを購入する
- できるだけ AC 電源を使用し、バッテリーは外出用に保存しておく
- PC カードは電力を消費するため、これを使用しないときには外しておく (特定のモデルのみ)
- バッテリーは涼しい、乾燥した場所に保管する。 推奨する温度は 10 ℃から 30 ℃ です。 気温が高くなると、バッテリーはより早く自己放電します。
- 何度も充電を繰り返すとバッテリーの寿命は短くなります。
- AC アダプターとバッテリーは定期的なお手入れが必要です。

低残量警告

バッテリーを使用するときには、Windows の電源メーターに注意してください。

警告： バッテリーの低残量警告が表示されたら、速やかに AC アダプターを接続してください。 バッテリーが完全に消耗すると、コンピュータがシャットダウンしますのでデータが失われてしまいます。

バッテリーの低残量警告が表示された場合の対処法は、作業状況によって異なります。

状況	対処法
AC アダプターとコンセントが近くにある場合	1. AC アダプターをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。 2. 必要なファイルすべてを保存します 3. 作業を再開します **バッテリーをできるだけ早く充電したい場合は、コンピュータの電源を切ってください。**
予備のバッテリーがある場合	1. 必要なファイルすべてを保存します 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. オペレーティングシステムをシャットダウンしてコンピュータの電源を切ります。 4. バッテリーを交換します。 5. コンピュータの電源を入れて、作業を再開します。
AC アダプターとコンセントが近くになく予備のバッテリーもない場合	1. 必要なファイルすべてを保存します 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. オペレーティングシステムをシャットダウンしてコンピュータの電源を切ります。

ソフトウェア

WINDOWS とソフトウェアの使い方

Gateway コンピュータにはコンピュータの使用を助けるソフトウェアが含まれています。使用可能なプログラムとカテゴリーは、購入されたモデルにより異なります。

ウェルカムセンター

初めてコンピュータの電源を入れると、ウェルカムセンター画面が開きます。ウェルカムセンターは Windows の新しい機能とツールを紹介します。ウェルカムセンターには、[スタート] > [はじめに]をクリックすると、いつでもアクセスできます。

インターネットセキュリティオファー

インターネットを介して侵入するコンピュータウイルスや、ハッカーの攻撃からコンピュータを保護することは、非常に重要なことです(46 ページのセキュリティを参照してください)。コンピュータを初めて起動すると、無償の体験使用期間を含むインターネットセキュリティスイートが提供されます。インターネットに接続する前に、この保護を有効にしてください。このセキュリティスイートは、コンピュータを最新のオンライン脅威から保護し、個人データ(銀行口座の情報、クレジットカード番号、パスワード、その他)を守ります。

Gateway Recovery Management

システム修復のためにコンピュータを準備しておくには、できるだけ早くリカバリーディスクセットを作成する必要があります。詳しい情報は、67 ページを参照してください。

マルチメディアファイルの再生

音楽、フィルム、フォトスライドショーを再生したり、TV を見たりするには(コンピュータに TV チューナーが装備されている場合)、コンピュータ上のメディアソフトを使用することができます。

コンピュータには 1 つ、またはそれ以上のメディアプログラムがインストールされています。Windows Media Player と、オプションで Microsoft より Windows Media Center が提供されます。また Gateway より別のメディアプログラムもインストールされている場合があります。

Windows Media Player

Windows Media Player は、MP3 形式や WMA 形式のオーディオファイル、ほとんどのビデオファイルを再生することができます。

Windows Media Center (オプション)

特定のコンピュータには、Windows Media Center などのオールインワンタイプの「メディアセンター」が含まれています。これらのプログラムには、リモコンで簡単に操作できるようなシンプルなメニューが付いており、さまざまなマルチメディアコンテンツに対応しています。



TV の生放送や録画番組を見たり (コンピュータに TV チューナーが装備されている場合)、デジタル音楽を聴いたり、画像や個人のビデオを見たり、オンラインサービスからコンテンツにアクセスしたりすることができます。

コンピュータにインストールされているメディアプログラムを起動するには、スタート ＞ Windows Media Center をクリックします。

設定

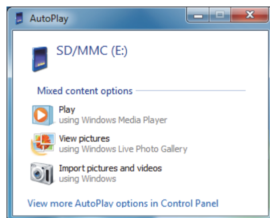
注意：コンピュータにリモコンや TV チューナーが装備されている場合は、初めてメディアプログラムを起動する前にそれらを接続し、有効にしておく必要があります。

初めてメディアプログラムを実行すると、セットアップウィザードが起動します。このウィザードは、いくつかの基本設定を構成します。エクスプレス セットアップオプションがある場合はこれを選択すると、必要に応じて追加オプションも設定することができます。

注意：インターネットに接続している場合は、ガイド(電子番組ガイド)を選択すると、現在の TV 番組表を見ることができます。このガイドには、チャンネルとネットワーク情報、番組のタイトル、説明、放送予定時刻が表示されます。

自動再生

Windows の自動再生機能を活用すると、リムーバブルストレージを備えた機器(デジタルカメラなど)に保管されたメディアファイルを Windows がどのように処理するかを選択できます。ファイルが保管されたディスク(DVD、USB メモリスティック、メモリカードなど)を挿入すると、Windows がダイアログボックスを開き、どのようにファイルを開きたいかを質問します。



ダウンロードしたファイルの再生

ダウンロードしたファイルはコンピュータにインストールされているメディアプログラムで開けるかもしれませんし、あるいは特殊なプログラムを必要とするかもしれません。DRM 機能を持つファイルは、特定のプログラム(iTunes、Windows Media Player など)でしか開けない場合があります。またそれぞれのファイル形式用に認可された機器でしか再生されない場合もあります。

ソーシャルネットワーク(オプション)



ソーシャルネットワーク アプリケーションを使用すると、デスクトップ内から友達のアップデートを見たり、あなた自身のアップデートを行ったりすることができます。デスクトップに直接アップデートの通知や状態が表示されます。サイドバーを使って、複数のソーシャルネットワークを監視することができます (例：Facebook、YouTube、Flickr、Twitter)

注意：ソーシャルネットワークアプリケーションは、オプションでプレインストールされるアプリケーションですので、コンピュータによってはインストールされていない場合もあります。

友達のメッセージや画像が掲載されると、友達(または申し込み) が何か動作をすると直ちに通知されます。



コンピュータのキーボードにオプションのソーシャル ネットワークキーが付いている場合は、これを押すとソーシャル ネットワークアプリケーションが表示されます。

ログインまたはサインアップ

アプリケーションの一番上には、Facebook からプロフィール画像とアカウントの情報が表示されます。Facebook プロフィールをまだ作成していない、あるいはアクセスしていない場合は、一番上の画像は青地に白で特定不能な人物の絵が表示されます。また情報は何も表示されません。

初めてソーシャルネットワークアプリケーションを起動すると、ソーシャルネットワークにログインできるようになります。自動的にログインされない場合は、ソーシャルネットワーク画面の一番上にあるログインをクリックします。新しい Facebook プロフィールを作成するだけであれば、サインアップをクリックして、画面の指示に従ってください。

注意：ソーシャルアクティビティを使用するには、インターネットにアクセスする必要があります。このアプリケーションをお使いになる前に、インターネットに接続されていることを確認してください。

アクセス許可

アップデートを受け取るには、ソーシャルネットワークアカウントへのアクセス許可を得る必要があります。各アカウントは別々に有効にされます。有効にしたいネットワークのタブをクリックします。

各ネットワークのアカウント名とパスワードが必要です。まだアカウントをお持ちでない場合は、新しいアカウントを作成する必要があります。

すでにアカウントをお持ちの場合は、[ログイン]ボタンをクリックしてアクセスをアクティベートします。まだアカウントをお持ちでない場合は、[サインアップ]をクリックしてアカウントを作成します。

新しいアカウントを作成するよう選択した場合は、電子メールやパスワードなど、必要な情報を入力します。続いて、あなたのアカウントへのアクセスを許可します。

要求された場合は、すべてのステップへのアクセスを許可してください。このようにすると、ソーシャルネットワークのすべての機能を確実に動作させることができます。

注意：新しいアカウントで使用するすべての情報(アカウント名、電子メールアドレス、パスワードを含みます) は書き留めておいてください。この情報は大切に保管しておき、必要なときに参照できるようにしておいてください。

ソーシャル ネットワークへのアクセス

アクセス許可を得ると、プロフィール画像とステータス情報が表示されます。この情報はワンクリックで更新できます。

クイックアクション

リンクをクリックすると、新しい画面に詳しい情報が表示されます。例えば、Facebook エントリをクリックすると、Facebook アカウントが開きすべてのエントリが表示されます。YouTube 動画タイトルをクリックすると、その動画を見ることができます。



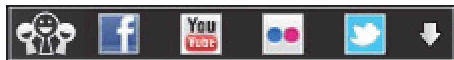
何を考えているの?欄にあなたのステータスを入力し、共有をクリックします。Facebook の友達は、あなたの状態をすぐに見ることができます。

Facebook で新しいフォトアルバムを作成するには、追加したい画像を選択し、それらをプロフィール画像にドラッグします。アルバム名と説明を入力するよう求められます。アップロードをクリックすると、画像があなたの Facebook アカウントへコピーされます。

1 ページに収まりきらない量のエントリがある場合は、一番下のバーの矢印をクリックすると、他のページが開きます。

一番上のバーにあるクエスチョンマークをクリックすると、ソーシャル ネットワークのヘルプファイルが開きます。

一番上のバーにある矢印をクリックすると、アプリケーション全体が隠され、画面の一番上に小さい通知バーが表示されます。通知バー(下)をクリックすると、友達のアクティビティの概要が全画面に表示されます。



注意：アップデートの送受信を中止したい場合を除き、[X]アイコンを使用してソーシャル ネットワークを終了しないでください。一番上のバーの矢印 を使用すると、通知バーが表示されます。

新しいフィードと情報の確認

見たいネットワークのタブを選択します。

ネットワーク毎にそれぞれのボタンがあります。ボタンにマウスを合わせると、説明が表示されます。見たいネットワークのボタンを選択し、アイテムリストをスクロールします。

Facebook タブの例



最初のボタン、およびタブを最初に選択したときに表示されたセクションは、新しいフィード(Facebook の場合)、YouTube の場合は最も再生回数が多い動画、Flickr の場合は連絡先です。1 ページに収まらない量のエントリがある場合は、一番下のバーにある矢印を使って他のページを見ることができます。

設定の変更

設定アイコンをクリックすると、ソーシャル ネットワークの設定にアクセスできます。

Live Update - Live Update ボタンが有効な場合は、ソーシャルネットワークアプリケーションの最新バージョンをダウンロードしてインストールすることができます。

ネットワークのタブをクリックして設定を見ることができます。このセクションでは、ネットワークを確認する頻度を設定したり、特定のネットワークからのログアウトを設定できます。

[X]をクリックして設定セクションを終了します。

インターネット

インターネットへの最初のステップ

コンピュータの保護

インターネットを介して侵入するコンピュータウイルスや、ハッカーの攻撃からコンピュータを保護することは、非常に重要なことです(34 ページのインターネットセキュリティオファーと、46 ページのセキュリティを参照してください)。初めてコンピュータをお使いになる際は、包括的なインターネットセキュリティプログラムをお使いになることをお薦めします。このような保護機能は、インターネットに接続される前にできるだけ早く有効にしてください。

インターネットサービス プロバイダの選択



インターネットの使用は、日常的なコンピュータ操作の一部となってきています。簡単な手順で、豊富な情報や通信ツールにアクセスすることができるようになります。これらの設定を行うには、まずインターネットサービスプロバイダを選択する必要があります。インターネットサービスプロバイダはコンピュータとインターネットを繋ぐ接続を提供します。お住まい地域で利用可能なインターネットサービスプロバイダについて、事前によく調べてください。友達や家族に体験談を聞いたり､評判や消費者レポートを参考にするのも 1 つの方法です。あなたが契約したインターネットサービスプロバイダが、インターネットを接続するための手順を説明してくれるはずです(追加ソフトや､電話線に接続するための特別な装置が必要となるかもしれません)。

接続タイプ

インターネットに接続するには、コンピュータのモデル、あなたの所在地、通信ニーズに応じていくつかの方法があります。

ダイヤルアップ

コンピュータの中には電話のダイヤルアップ(モデム)コネクタが備えられているものがあります。これは電話回線を使ってインターネットに接続するためのものです。ダイヤルアップ接続では、1 本の電話回線でモデムと電話を同時に使用することはできません。このタイプの接続方法は、接続速度が遅く、通常接続時間に応じて 1 時間毎に課金されるため、インターネットの使用が制限されます。

DSL (例：ADSL)

DSL (Digital Subscriber Line)は電話線を使って行う、常に繋がった状態の接続方式です。DSL と電話はそれぞれ異なる周波数を使用しますので、インターネットに接続しながら電話を使用することができます(干渉を防ぐために、各電話ソケットにマイクロフィルタが必要となります)。DSL を使用するには、DSL 対応電話交換局が近くになければなりません(地方によっては、このサービスを利用できない場合があります)。接続速度はお住まいの地域により異なりますが、通常は高速で、安定したインターネット接続が可能です。常に繋がった状態ですので、通常は毎月固定料金を支払う形態となります。



注意：DSL 接続には適切なモデムが必要です。通常モデムは登録時にインターネットサービスプロバイダから提供されます。多くの場合、これらのモデムにはネットワークと Wi-Fi アクセスを提供するルーターが含まれています。

ケーブル

ケーブル接続はケーブル TV 回線を使用する、高速で、常に繋がった状態の接続方式です。通常このサービスは大都市で利用することができます。インターネットに接続しながら電話も使用できますし、TV も見ることができます。

3G (WWAN または「Wireless Wide-Area Network」)

3G 接続は、外出先でも携帯電話ネットワーク(携帯電話が使用するネットワークなど)を使ってインターネットに接続することができます。SIM カード用のソケットはコンピュータに備えられている場合もありますし、または USB モデムや専用機能が備わった携帯電話など、周辺機器が必要な場合もあります。



注意:コンピュータに SIM カードスロットが備えられている場合は、互換性のある SIM カードと携帯電話サービス会社との契約が必要となります。
3G 機能をご使用になる前に、特にローミング料金などの追加料金が必要かどうかをサービス提供会社に確認してください。

ネットワーク接続

LAN (Local Area Network)は、共通の通信回線とリソースを共有するコンピュータの集まりです(例えばオフィスビル内や自宅など)。ネットワークを設定すると、ファイル、周辺機器(プリンタなど)、インターネット接続を共有することができます。LAN は有線技術(Ethernet など)や、ワイヤレス技術(Wi-Fi や Bluetooth)を使って設定することができます。

ワイヤレスネットワーク

ワイヤレス LAN (または WLAN)はワイヤレス ローカルエリアネットワークのことであり、ケーブルを接続せずに複数のコンピュータを接続することができます。ワイヤレスネットワークは簡単に設定できます。設定が完了すると、ファイル、周辺機器、インターネット接続を共有できるようになります。

ワイヤレスネットワークを利用する利点は何ですか?

利便性

ワイヤレス LAN システムは、ホームネットワークのユーザー全員が、ファイルやネットワークに接続された機器(プリンタやスキャナなど)にアクセスできるようにします。

また自宅の他のコンピュータとインターネット接続を共有することもできます。

インストールが簡単

ワイヤレス LAN システムはすばやく、簡単に導入することができます。また壁や天井に穴を開けてケーブルを通す必要もありません。

ワイヤレス LAN のコンポーネント

自宅にワイヤレスネットワークを設定するには、次のものが必要となります。

アクセスポイント(ルーター)

アクセスポイント(ルーター)は、周囲にデータを放送する双方向トランシーバーです。アクセスポイントは、有線ネットワークとワイヤレスネットワークの間の仲介役の役割を果たします。ほとんどのルーターには、高速 DSL インターネット接続にアクセスできる、DSL モデムが内蔵されています。通常は契約したインターネットサービスプロバイダが、申し込み時にモデム/ルーターを提供します。アクセスポイント/ルーターに付帯されるマニュアルをよくお読みになり、セットアップの手順に従ってください。

ネットワークケーブル (RJ45)

ネットワークケーブル (「RJ45 ケーブル」とも呼びます) は、ホストコンピュータとアクセスポイント (下図を参照) を結ぶために使用されます。このタイプのケーブルは、周辺機器とアクセスポイントを繋ぐときにも使用できます。

ワイヤレスアダプター

内蔵ワイヤレスアダプターは、通常コンピュータにインストールされています。Windows のボタンやコントロールは、アダプターを接続、または切断する場合に使用します。



ネットワーク一覧

1. アクセスポイント/ルーター
2. デスクトップコンピュータ
3. モデム
4. プリンタ
5. ノートブックコンピュータ
6. PDA/スマートフォン
7. ネットワークケーブル (RJ45)



Wi-Fi ネットワーク接続のオン/オフ

ほとんどのコンピュータには、ネットワーク接続をオン/オフにする、[Wi-Fi]ボタンが搭載されています。コンピュータにワイヤレスアクセスがあっても、[通信]ボタンが搭載されていない場合は、ネットワーク管理オプションを使って、ワイヤレスネットワーク接続をオン/オフにしたり、ネットワーク上で共有しているものをコントロールしたりすることができます。[スタート]>[コントロールパネル]>[ネットワークとインターネット]>[ネットワークと共有センター]をクリックしてください。

警告 : 飛行中にワイヤレス装置を使用することは禁止されています。

搭乗される前にすべての機器の電源を切ってください。飛行中にこれらの機器をご使用になると、操縦や通信の妨害となるため、法律によっても使用が禁止されています。

ネットサーフィン



ネットサーフィンを行うには、「インターネットブラウザ」と呼ばれるプログラムが必要です。Internet Explorer ブラウザを活用すると、簡単かつ安全に Web サイトを見ることができます。インターネットアクセスをインストールするとすぐにインターネットに接続できますので、Windows デスクトップの[Internet Explorer]ショートカットをクリックしてください。

Gateway Web サイト

コンピュータを使用するための準備を行うには、www.gateway.com を参照してください。

Gateway は、常にあなたに最適なサポートを提供しております。必要に応じたサポートを得るには、サポートセクションをご覧ください。

www.gateway.com はオンラインアクティビティとサービス窓口です。弊社ホームページを定期的にご覧になり、最新情報やダウンロードをご確認ください。

セキュリティ

インターネット上にあるすべての情報を見てみたいと思われるかもしれません。安全にインターネットに接続するために、Gateway は本コンピュータに Symantec 社の Norton Internet Security (60 日体験版)をプレインストールしています。

Norton Internet Security は背景で静かに起動して、今日の複雑な脅威を遮断し、買い物、銀行取引、ネットサーフィン中にあなたの個人情報を保護します。

Norton Internet Security はオンライン ID の盗難を防止、スパイウェアの検出と除去、ウイルスやインターネットワームの削除、ハッカーからのデータ保護などを行います。

定義

コンピュータウイルスって何？

通常「ウイルス」と呼ばれている悪質なソフトウェアで、コンピュータに影響を与えたり、破壊したりするよう設計されたプログラムのことです。

ほとんどのウイルスはインターネット、電子メール、悪質な Web サイトから転送されます。一般的なウイルスはこっそりと自分自身を複製し、複数のコンピュータに侵入します。また別の有害なものにトロイの木馬、ワーム、スパムなどがありますが、これらもコンピュータリソースを大量に消費したり、ネットワークを渋滞させたりするなど、コンピュータにさまざまな方法で影響を与えます。

注意：Gateway は、ご購入時にこのコンピュータには完全にウイルスがない状態であり、ウイルスによるダメージが一切ないことを保証します。

スパイウェアって何？

「スパイウェア」とは、インターネットに接続しているときにユーザーが気付かない間にコンピュータにダウンロードされる、迷惑プログラムのことを言います。これがコンピュータに侵入すると、あなたの閲覧行為をのぞき見して個人情報を収集したり、広告を表示したり、コンピュータの構成内容を変更したりすることもあります。スパイウェアはコンピュータリソースを大量に消費し、インターネット接続速度やコンピュータシステム全体の速度を低下させたり、コンピュータをクラッシュさせたりすることもあります。

スパイウェアはあなたのインターネット上での行為を監視して追跡し、画面にターゲットとなるような広告を表示するために、ときどき悪質な企業によって使用されることがあります。ただしスパイウェアの中には単純な追跡行為の範囲を超えて、実際のキー入力を監視してパスワードを盗むなど、セキュリティ上非常に危険なものもあります。

マルウェアって何?

マルウェアと呼ばれる悪質なソフトウェアは、故意にコンピュータに悪影響を与えるように設計されています。ウイルス、ワーム、トロイの木馬などがマルウェアの典型です。マルウェアからコンピュータを保護するためには、最新のウイルス対策ソフトとマルウェア対策ソフトをインストールしておくことが重要です。

個人のファイアウォールって何?

ファイアウォールとは、プライベートネットワークへ/からの不正なアクセスを防止するよう設計されたソフトウェアプログラムです。これはシールドとなって、悪質な接続(中にはコンピュータにウイルスや悪質なプログラムをインストールまたは配布しようとするものもあります) からインターネット接続を保護するものです。ファイアウォールはあなたのコンピュータに接続しようとする行為をすべて監視します。あなたの許可なく情報を取得しようとするプログラムを検出し、警告メッセージを表示します。したがって、そのような接続を許可するかどうかを決定することができます。現在あなたが使用しているプログラムによる接続である場合は、その接続を許可することができます(マルチプレーヤー サーバーへのゲーム接続や、コンテンツのアップデートを行う辞書など)。

<u>*コンピュータを保護するには*</u>

サイバー犯罪を防止することは、実は簡単なことです。少しの技術的知識と常識があれば、大抵の攻撃から守ることができます。一般的に、オンライン犯罪者は手っ取り早くお金を稼ごうとするものです。したがって、防御の厳しい場所へは侵入しようとせず、より簡単なターゲットを探そうとします。以下に紹介するヒントを参考に、オンライン詐欺を防止してください。

コンピュータに常に最新のパッチとアップデートをインストールしてください

コンピュータを悪質な攻撃から保護する最高の方法は、パッチと修正が提供されたらすぐにインストールすることです。コンピュータを定期的にアップデートすることに

より、ソフトウェアの弱点(脆弱な部分)からシステムに侵入しようとする攻撃からコンピュータを保護することができます。

コンピュータを最新の状態に維持したとしても、完全にハッカーを遮断することはできませんが、少なくともハッカー攻撃の量は少なくなりますし、基本的な自動攻撃からは完全にシステムを保護することができます。

最新バージョンの Microsoft Windows やその他の一般的なソフトウェアは、いちいち最新ソフトウェアをチェックしなくても、自動的にアップデートをダウンロードしてインストールするよう構成できるようになっています。ソフトウェアの[自動]アップデート機能を利用して、安全なオンライン接続を保ってください。

セキュリティソフトによるコンピュータ保護

基本的なオンラインセキュリティには、いくつかの種類のセキュリティソフトが必要となります。不可欠なセキュリティソフトは、ファイアウォールとウイルス対策プログラムです。ファイアウォールは通常コンピュータの第一線の防御となるもので、あなたのコンピュータに誰と何がオンラインで通信できるかをコントロールします。ファイアウォールは一種の「警察」であると考えてください。インターネット上からコンピュータに入ってくる、または出て行こうとするすべてのデータを監視し、安全が確認されている通信は許可し､コンピュータに侵入しようとしている攻撃などの｢不正」トラフィックを遮断します。

次の防御がウイルス対策ソフトとなります。これは電子メールメッセージやネットサーフィンなどのオンライン行為を監視し、ウイルス、ワーム、トロイの木馬、その他の種類の悪質なプログラムから個人データを保護します。ウイルス対策ソフトやスパイウェア対策ソフトは、インターネットに接続するたびに自動的にアップデートされるよう設定しておくべきです。

Norton Internet Security などの統合セキュリティスイートには、ファイアウォール、ウイルス対策、スパイウェア対策と、スパム対策やパレンタルコントロールなどのオンライン保護に必要とされるすべてのセキュリティ機能が、1 つのパッケージに統合されています。包括的なセキュリティスイートは、複数のセキュリティソフトをインストールし、構成してアップデートする手間を省ける便利な方法だと考えられます。

この Gateway システムには、Norton Internet Security™の 60 日体験版がプレインストールされています。これには保護アップデート機能が含まれています。必ず有効にしてください。

分かりにくいパスワードで保護

今日のインターネットにおいて、パスワードは不可欠です。オンラインショッピングや銀行取引から､マイル数確認のための航空会社の Web サイトへのログインに至るまで、常にパスワードが必要となります。次のヒントを参考にして、安全にオンライン操作を行ってください。

- 簡単には思いつかないようなパスワードを選ぶことにより､パスワードを安全に保護し、パスワードの盗難を防止することができます。 分かりにくいパスワードとは、8 文字以上の文字、数字、記号(#＄%！?など)を組み合わせたものです。次のようなものはパスワードには適しません。ログイン名、名前などの個人情報を基にしたもの、辞書に載っている単語など(特に「パスワード」など)。銀行のオンライン取引などでは､特に分かりにくい､専用のパスワードを選択するようにしてください。
- パスワードは安全な場所に保管し､オンラインで使用するサービス毎に異なるパスワードを使用するようにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください(少なくとも 90 日おき)。このようにすると､あなたのアカウントの情報をすでに獲得した人物からの被害の可能性を制限することができます｡オンラインアカウントに疑わしい点がある場合は､最初にすべきことはパスワードを変更することです。

個人情報の保護

名前、自宅の住所、電話番号、電子メールアドレスなどの個人情報をオンラインで提供する場合には、十分な注意が必要です。さまざまなオンラインサービスを利用するためには、購入した製品の請求書や送り先を指示するために個人情報の提供が避けられない場合があります。個人情報を全く提示しない訳にもいかないので、以下にオンライン上で安全に個人情報を提供するためのヒントを紹介します。

- **偽の電子メールメッセージに注意してください。** スペルミス、文法ミス、言葉遣いがおかしい、疑わしい拡張子を持つ Web アドレス、通常は単語のはずがすべて数字になっている Web アドレス、普通ではないものが含まれるメッセージは、詐欺の可能性があります。さらに、アカウントを維持するため、またはセキュリティをアップデートするためには急いで行動を取らなければならない、あるいは早急に情報を提供しなければ何か悪いことが起こるなどと書かれた、詐欺メッセージにも注意が必要です。これらを安易に信用しないでください。
- **個人情報を訊ねる電子メッセージには返信しないでください。** 正常な企業は、電子メールで個人情報を訊ねるようなことはしません。疑わしい場合は、その会社に電話で問い合わせるか、Web ブラウザにその会社の Web アドレスを入力してみてください。このようなメッセージに記載されているリンクをクリックすると、悪質な詐欺サイトにアクセスしてしまいます。
- **個人情報を盗もうとする詐欺サイトには近づかないでください。** Web サイトにアクセスする場合は、電子メールや SMS メッセージに記載されたリンクをクリックするのではなく、Web ブラウザに直接アドレス(URL)を入力してください。詐欺師たちは、このようなリンクを納得のゆくように見せかけて騙します。
  ショッピング、オンライン銀行取引、重要な情報を含むその他の Web サイトには、"http" の後に "S" が付きます (例：http://www.yourbank.com ではなく、https://www.yourbank.com です)。"s"は「セキュア (安全)」を意味しており、ログインやその他の重要なデータを入力しなければならないエリアで使用されます。安全に接続できる場所には、Web ブラウザの下の方に小さい鍵アイコンが表示されます(通常は右隅)。
- Web サイトとソフトウェアのプライバシーポリシーに注意してください。サービスを利用する前に、その組織がどのようにしてあなたの個人情報を収集し、使用するかを理解しておくことは重要なことです。
- 電子メールアドレスを保護してください。スパム送信者や詐欺師は、存在するかしないか分からない電子メールアドレスに大量のメッセージを送りつけ、わずかな可能性を探ろうとします。これらのメッセージに返信したり、イメージをダウンロードしたりすると、あなたの電子メールアドレスが彼らのリストに追加され、その後

さらに同様のメッセージが送りつけられることになります。またニュースグループ、ブログ、オンラインコミュニティなどに電子メールアドレスを掲載する場合も注意が必要です。

オンラインは本当にしては出来すぎている様なことも提供します

「ただより高いものはない」という諺は今日も生きています。スクリーンセーバーやスマイリーなどの「無償」と推定されるソフトウェア、巨額の報酬を約束するような秘密投資話、コンテストに参加していないのに当選したという連絡などは、あなたの注意を引こうとする企業による誘いです。

入手した無償のソフトウェアやサービスには、広告ソフト (「アドウェア」)がバンドルされている場合があります。これはあなたの行動を追跡し、ソフトウェアを起動している間、迷惑な広告を表示するものです。実際に必要なコンテンツを見るためには、個人情報を提供しなければならなかったり、何かを購入しなければならない場合があります。あまりにも出来すぎた話については、別の人の意見を聞いたり、小さい文字で印刷された注意事項をよく読むか、あるいは無視してしまうのが一番の対策です。

銀行とクレジットカードの明細を定期的にチェックしてください

データが盗まれた直後、または個人情報を不正に使用する直前にそのような犯罪を見つけ出すことができれば、ID 盗難やオンライン犯罪の被害は大幅に減少するはずです。不正が行われたことを簡単に知るためには、毎月銀行やクレジットカード会社から送られてくる明細書をよく確認することです。

また、多くの銀行やサービス会社では、異常な購入行為を撤回する詐欺防止システムを採用しています (例えば、テキサス州に住んでいるのに、いきなりブダペストで冷蔵庫を購入したなど)。このような普通とは異なる購入を確認するために、これらの会社は確認の問い合わせをする場合があります。このような問い合わせを軽く考えないでください。これらは何か悪いことが起こったことを示唆している場合があり、早急な対応が必要かもしれません。

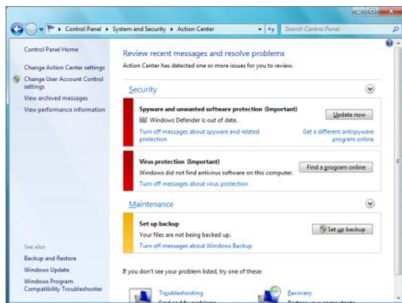
Windows セキュリティツールによるコンピュータ保護

Windows にはさまざまな保護アプリケーションが用意されています。

Windows Action Center

Windows にはコンピュータのセキュリティ設定をコントロールできる､中央制御エリアがあります。ここからコンピュータをインターネット攻撃から保護したり、コンピュータに確実に最新のセキュリティアップデートをインストールしたりしておくことができます。

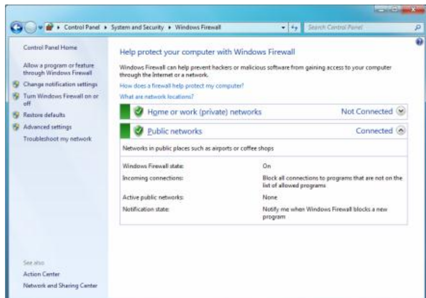
Action Center を開くには、**[スタート]** >**[コントロールパネル]**>**[システムとセキュリティ]**>**[Action Center]**をクリックします。



セキュリティ警告が表示された場合は(時計の横の通知領域)、通知バルーンをクリックするか、小さいセキュリティ警告アイコンをダブルクリックしてください。

Action Center は、コンピュータを保護する重要なアプリケーションにより使用される状態と設定を示します。さらに、Microsoft よりコンピュータを保護するための包括的なシステムの一部として、*Windows ファイアウォール*、*Windows Defender*、*Windows の自動更新*が提供されています。ウイルス対策アプリケーションは、コンピュータにインストールされているプログラムによって異なります。

Windows ファイアウォール



Windows にはインターネットに接続している間、コンピュータを保護するためのファイアウォールが備えられています。これは許可なくインターネットにアクセスしようとするプログラムを阻止します。

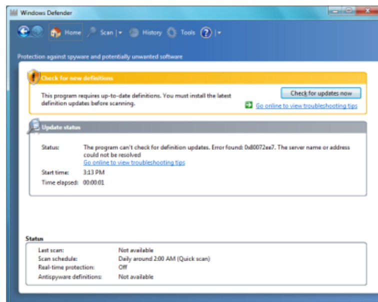
特定のプログラムは、正常に機能するためにインターネットに接続しなければなりません。

このような場合は、通常プログラムをインストールするとき、または初めて使用するときに、アクセスを許可するかどうかを質問されます。ファイアウォールの設定を確認するには、[**スタート**]>[**コントロールパネル**]>[**システムとセキュリティ**]>[**Windows ファイアウォール**]を選択します。

注意：*ファイアウォールは最初は「学習モード」になっており、あなたが認知し、信頼できる特定のプログラムがインターネットにアクセスしたがっていることを警告するためのポップアップ ウィンドウが開きます。一定期間が過ぎると、ファイアウォールはあなたが信頼するプログラムを覚え、次回からプログラムがインターネットに接続しようとしても許可を求めなくなります。ファイアウォールはインターネットからあなたのコンピュータにアクセスしようとするプログラムからもコンピュータを保護します。場合によっては、プログラムアップデートやダウンロードなどのために、アクセスを許可する必要があります。*

注意：**ほとんどのセキュリティ ソフトウェア スイートは似通った機能を備えており、システムの性能を向上するために、Windows ファイアウォールを無効にしますのでご注意ください。**

Windows アップデート



インターネット接続がアクティブになっている場合は、Windows がコンピュータに必要な重要なアップデートをチェックして自動的にインストールすることができます。このようなアップデートには、コンピュータの使用環境を向上させたり、新しいウイルスや攻撃からコンピュータを保護したりするためのセキュリティパッチやプログラムアップデートが含まれます。

Windows Defender

Windows Defender は、スパイウェアやアドウェアといった悪質で不要なソフトウェアからコンピュータを保護します。

Windows Defender はデフォルトによりインストールされ、有効に設定されています。

プライバシーとコンピュータを保護するために、Windows Defender には*リアルタイム保護*オプションが含まれています。リアルタイム保護機能は、スパイウェアやその他可能性のある悪質ソフトがそれら自身をインストールしたり、コンピュータ上で実行したりしようとすると、警告を表示します。またプログラムが Windows の重要な設定を変更しようとした場合にも警告を出します。

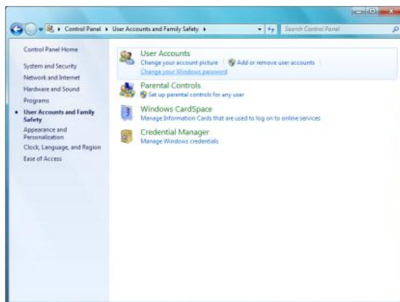


注意： *Windows Defender は Windows アップデートの設定と共に、最新の定義を自動的にインストールします。*

注意 : **ほとんどのセキュリティソフトウェアスイートは似通った機能を備えており、システムの性能を向上するために、Windows Defender を無効にしますのでご注意ください。**

ユーザーアカウント制御

ユーザーアカウントのコントロールパネルは、コンピュータに不正な変更が加えられるのを防止します。ユーザーアカウントはコンピュータの操作に影響を与えるような行為を行う前、あるいは他のユーザーに影響を与える設定を変更する前に、許可を求めるか、管理者のパスワードの入力を求めます。ユーザーアカウントのメッセージが表示されたら、それをよくお読みになり、開始しようとしている操作やプログラムの名前をよく確認してください。



これらの操作を開始する前によく確認することで、ユーザーアカウントの設定は悪質なソフトウェア(マルウェア)やスパイウェアが許可なくコンピュータにインストールしたり、変更したりするのを防止することができます。

*ユーザーアカウント*の設定にアクセスするには、[**スタート**]>[**コントロールパネル**]>[**ユーザーアカウントと家族のための安全設定**]>[**ユーザーアカウント**]を選択します。



注意： *ユーザーアカウントのコントロールメッセージはユーザーアカウントのコントロール設定画面でオフにすることができます（ 推奨しません)。*

Internet Explorer のセキュリティ設定

インターネットサイトは「Cookie」と呼ばれる小さいファイルを使って、ユーザーのお気に入りや情報を追跡します。インターネットブラウザのセキュリティ設定を調整することにより、Web サイトからどの程度の情報を受け取りたいかを決定することができます。

Internet Explorer のセキュリティ設定にアクセスするには :

1. Internet Explorer で[**ツール]**>[**インターネットオプション]**を選択します。
2. [**プライバシー]**タブで、スライダーを上下に動かして設定を選択します。

コンピュータが危険に晒されているかどうかはどのようにして知ることができますか?

Action Center が警告を発したり、コンピュータが異常な動作をしたり、突然クラッシュしたり、いくつかのプログラムが正常に作動しなかったりした場合は、コンピュータが悪質なソフトウェアに感染した可能性があります。ただし、コンピュータの問題がすべてウイルスに起因するものではないことを覚えておいてください。コンピュータがウイルスに感染したことが疑われる場合は、まずウイルス対策ソフトとスパイウェア対策ソフトをアップデートしてください (まだお済みでない場合)。

ヘルプデスク

安全にコンピュータをお使いいただくために

コンピュータを長く、最大限に活用していただくために、次のプログラムを使って定期的にこのガイドに記載されるメンテナンスを行ってください。

メンテナンス

推奨するメンテナンスタスク

コンピュータを正常な状態に維持するために、定期的(月に 1 回)にいくつかのタスクを行う必要があります。

エラーを調べる

定期的に チェックディスクツールを使用すると、システムが不安定になったり、情報が失われたりするのを防ぐことができます。このツールは 2 つのタイプのエラーをチェックし、修復します。

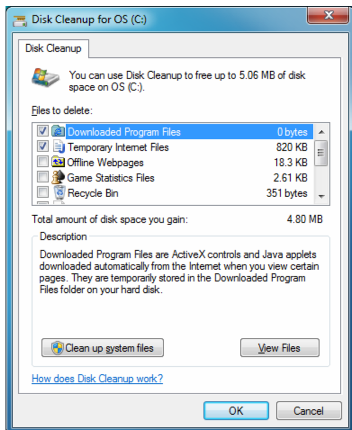
- 削除されない破片化したファイルや、無効なサイズや日付のファイルなどのファイルシステムエラー
- 摩滅したハードディスクなどで生じる物理的エラー

1. **[スタート]** >**[コンピュータ]**をクリックします。**[Gateway (C:)]**アイコンを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
2. [*エラーチェック*]セクションで**[ツール]**をクリックした後、**[今すぐチェック]**をクリックします。
3. **[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]**オプションにチェックマークを付けます。**[不良セクタをスキャンし、復元する]**オプションにチェックマークを付け

ると、次回コンピュータを再起動したときにも物理エラーチェックを実行します。**[スタート]**をクリックすると、処理が開始されます。

ディスクのクリーンアップ

ディスクのクリーンアップ ウィザードを活用すると、ハードディスク上のスペースを空けることができます。このウィザードはドライブを検索し、一時インターネットファイルやゴミ箱のファイル、削除しても問題のないその他の一時ファイルなど、使用しないファイルを表示します。



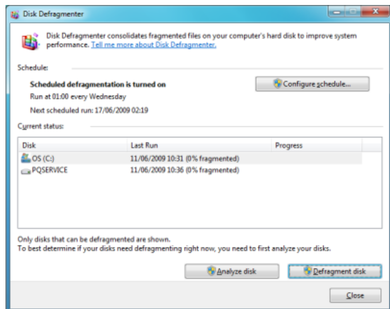
1. **[スタート]**>**[コンピュータ]**をクリックします。**[Gateway]**アイコンを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
2. **[全般]**タブを選択し、**[ディスクのクリーンアップ]**ボタンをクリックします(ディスクドライブ図の横)。
3. [*削除するファイル*]エリアで削除したいカテゴリーにチェックマークを付けて、**[OK]**をクリックします。

ディスクデフラグツール

何度もファイルの作成と削除を繰り返すうちに、ハードディスク上でファイルが散在し、コンピュータの性能に影響を与えます。*ディスクデフラグツール*はハードディスクに保管されているアイテムを整理し、コンピュータがより速く、効率よく作動するようにします。

月に 1 回*ディスクデフラグツール*を実行すると、ハードディスクの摩滅を遅らせ、長く使用できるようになります。

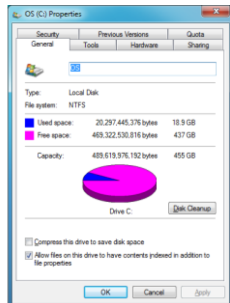
1. *ディスクデフラグツールを実行し、*開いているプログラムをすべて閉じます。
2. **[スタート]** > **[コンピュータ]**をクリックします。**[Gateway]**アイコンを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
3. **[ツール]**をクリックした後、**[今すぐ最適化...]**をクリックします。
4. 最適化したい量をクリックし、**[最適化]**をクリックすると処理が開始されます。この処理が完了するまでには、数時間かかる場合があります。ディスク デフラグツールを実行している間にコンピュータを使用すると、システムへの変更が生じ、最初から処理をやり直さなければならなくなるため、実行中はコンピュータを使用しないでください。ハードディスクにパーティションが作成されている場合は、各パーティション毎に同じ処理を行わなければなりません。



ハードディスクの管理

ハードディスクの空き領域を確認する

1. **[スタート]**>**[コンピュータ]**をクリックします。
2. **[Gateway]**アイコンを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
3. *ハードディスクのプロパティ*画面に、ハードディスクの使用済みスペースの量と、空き領域の量が表示されます。ハードディスクがほぼいっぱいの状態(残量が200MB以下の場合)になったら、スペースを解放するようにしてください。



使用済みのスペースと空き領域を簡単に確認するには、ポインターをハードディスクアイコンに合わせてください。すると自動的に情報が表示されます。

ハードディスクの領域を空ける

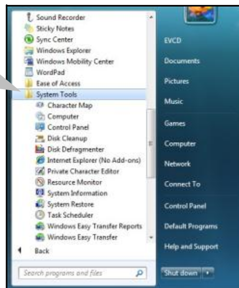


1. ゴミ箱を空にする : コンピュータから削除したファイルは、ゴミ箱に移動されます。削除したファイルはすべて、コンピュータから完全に削除するか、元の場所に戻すまでは、ゴミ箱に入ったままとなります。Windows デスクトップで **[ごみ箱]**をダブルクリックした後、**[ごみ箱を空にする]**をクリックするか、削除したいアイテムを選択してください。メモリカードなどの外付けストレージデバイスから削除したアイテムは、ゴミ箱には入らず、永久に削除されます。
2. 使用しないプログラムを削除する :
   [スタート] >**[コントロールパネル]**>**[プログラム]**>**[プログラムと機能]**をクリックしてください。
3. 外付けハードディスクにファイルをアーカイブし、それらをハードディスクから削除します。

<u>Windows システムツールの起動</u>

コンピュータを良好な状態に維持するために、Windows には便利なツールが用意されています。これらのツールを定期的に実行して、安定したシステムを維持してください。この処理を簡単に行うには、*システムツール*に含まれるタスクユーティリティを活用します。このユーティリティは特定のタスクを定期的に行うために、自由にカスタマイズすることができます。

*システムツール*リストを開くには、**[スタート]** >**[すべてのプログラム]**を選択した後、プログラムリストで**[アクセサリ]**フォルダをクリックし、**[システムツール]**を選択します。

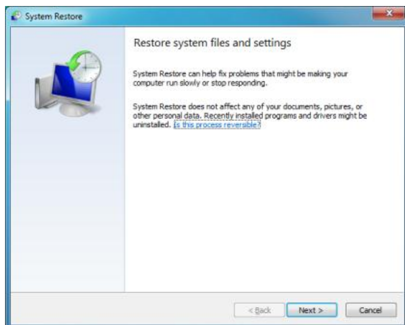


Windows システムの復元

*システムの復元*はコンピュータに加えられた変更を監視し、大幅な変更（プログラムのインストールなど）が加えられる毎にコンピュータの構成内容を保存する復元ポイントを自動的に作成します。この機能を活用すると、個人のデータファイル(文書、閲覧履歴、写真、お気に入り、電子メールなど)を削除しなくても、コンピュータへの有害な変更を元に戻し、その設定と性能を復元することができます。

注意： *プログラムを削除するだけであれば、システムの復元は使用しないでください。プログラムを削除するには、[コントロール パネル]の[プログラムと機能]を使用してください。*

Windows デスクトップからシステムの復元を開始する

[スタート]**>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>[システムツール]>[システムの復元]**をクリックします。

Windows デスクトップにアクセスできない場合：

1. スタートアップ時に Gateway ロゴが表示されたときに、**Alt + F10** キーを押します。すると *リカバリープログラム*が起動します。
2. **[Windows システムの復元]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。コンピュータが自動的に再起動し、*システムの復元*を起動します。

システムの復元オプション

コンピュータを前の状態に戻す

このオプションを選択すると、個人の文書や電子メールに影響を与えることなく、コンピュータを以前の状態に戻すことができます(失われた文書は復元しません)。デ

フォルトにより、オペレーティングシステムに大幅な変更があった場合は、Windows はそれ自身のスナップショットを保存します(ドライバのインストレーションや特定のソフトウェアなど)。この機能はドライバのインストールに失敗したときや、システム設定を変更したものの上手く機能しないときなどに便利です。

1. **[次へ]**をクリックします。
2. 復元ポイントを作成した日をリストから選択し、**[次へ]**をクリックします。
3. 確認画面で**[完了]**をクリックすると、コンピュータが選択した日時の状態に戻ります。

復元ポイントの作成

Windows は定期的に予定した日､または特定のプログラムやドライバがインストールされる前に、自動的に復元ポイントを作成します。このオプションを使用すると、必要なときに復元ポイントを作成することができます。

1. **[スタート]** >**[コントロールパネル]**>**[システムとセキュリティ]**>**[システム]**を選択します。サイドバーで**[システム保護]**をクリックし、**[作成...]**ボタンをクリックします。
2. この復元ポイントを識別できるように、説明を入力します。*システムの復元*は、この名前に自動的に日時を追加します。
3. 完了するには、**[作成]**をクリックします。

最後に行った復元を元に戻す

特定の日の状態にコンピュータを戻した後、システムが作動しなくなった場合は、このオプションを使って復元を元に戻すことができます。

または*前回正常起動時の構成*オプションを使って、システムが最後に正常に起動したときの設定に戻すことができます。

1. コンピュータを復元する場合は、**F8** キーを押して詳細なスタートアップオプションを開きます。

2. 矢印キーを使って**[前回正常起動時の構成]**を選択し、**Enter** キーを押します。

アップデート

毎日のように新しいウイルス、ワーム、その他の脅威が発見されています。

セキュリティアプリケーションとオペレーティングシステムを最新の状態に維持することは、大変重要なことです。

コンピュータを安全に保護するには

- *Windows Action Center* から要求されたら、更新を行ってください。
- Microsoft *Windows 自動更新*を使用
- *Windows Update* を実行

インターネットセキュリティ

他のセキュリティアプリケーションと組み合わされた *Norton Internet Security* は、コンピュータをインターネット攻撃から保護し、システムに最新のセキュリティアップデートをダウンロードしてインストールします。*Norton Internet Security* は *Live Update* を介して自動アップデートを行います。*Norton Internet Security* のメインのインターフェイスと *Live Update* リンクから手動で更新を行うこともできます。

オペレーティングシステム、ソフトウェアおよびドライバ

Windows Update はコンピュータを最新の状態に維持するのに便利なツールです。これを使ってコンピュータのオペレーティングシステム、ソフトウェア、ハードウェアのアップデートを選択してダウンロードしてください。

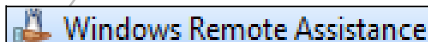
コンピュータを保護し、スムーズに起動できるように、Windows Update には定期的に新しいコンテンツが追加されていますので、最新のアップデートや修正パッチを取得することができます。

- **[スタート]** >**[コントロールパネル]**>**[システムとセキュリティ]**>**[Windows Update]**を選択します。

Windows リモートアシスタンス

リモートアシスタンス機能は、ネットワークかインターネットを介して、一時的に遠隔地から問題のある Windows コンピュータを操作し､問題を解決するための機能です。





リモートアシスタンスは実際に技術者がその場に行くことなく、コンピュータを診断し、補修することができます。

リモートアシスタンスにアクセスするには、**[スタート]** >**[すべてのプログラム]**>**[メンテナンス]**>**[Windows リモートアシスタンス]**を選択します。リモートアシスタンスを起動した後で、誰かに来てあなたの問題を解決してもらうのか、それとも誰かの問題を助けてあげるのかを選択してください。

復元

GATEWAY RECOVERY MANAGEMENT

注意： *Gateway Recovery Management は、プレインストールされた Windows オペレーティングシステムでしか使用できません。*

コンピュータで他の方法では復元できない問題が発生した場合、Windows オペレーティングシステムおよびプレロードされたソフトウェアとドライバの再インストールが必要になる場合があります。必要な場合に確実にコンピュータを復元できるようにするために、できるだけ早くリカバリーバックアップを作成してください。

Gateway Recovery Management には以下の機能が備わっています。

1. バックアップ：
   · デフォルトイメージディスクの作成
   · ドライバとアプリケーションのバックアップ
2. 復元：
   · オペレーティング システムを工場出荷時の状態に戻す
   · オペレーティングシステムの復元とユーザデータの回復
   · ドライバまたはアプリケーションの再インストール

この章では、各作業の手順を説明します。

リカバリーディスクの作成

ディスクを使用して再インストールするには、先にリカバリーディスクセットを作成しておく必要があります。この処理では画面に表示される指示に従ってください。指示内容はよくお読みください。

1. **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Gateway]**をクリックした後、**[Gateway Recovery Management]**をクリックします。



2. ハードディスク全体のオリジナルコンテンツのリカバリーディスク(Windows およびプレロードされたソフトウェアとドライバすべてを含む)を作成するには、**[デフォルトイメージディスクの作成]**をクリックします。

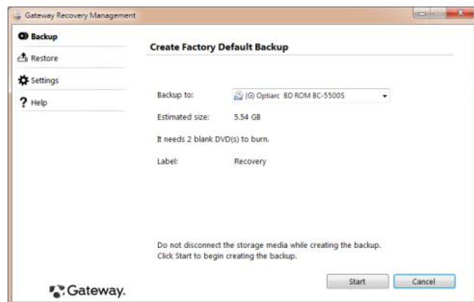
- または -

プレロードされたソフトウェアとドライバのみのリカバリーディスクを作成するには、**[ドライバとアプリケーションのバックアップディスクの作成]**をクリックします。



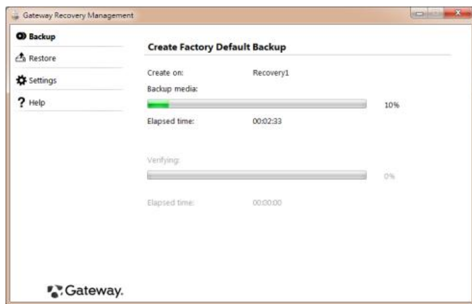
重要 : 各タイプのリカバリーディスクをできるだけ早く作成することをお薦めします。

[デフォルトイメージディスクの作成]ダイアログボックスが開きます。



このダイアログボックスには、リカバリーディスクの作成に必要な未使用のディスクの枚数が表示されます。作業を続行する前に、同じタイプの未使用のディスクが必要な枚数分用意されていることを確認してください。

3. 未使用のディスクを*[バックアップ先]*リストで示されているドライブに挿入し、**[次へ]**をクリックします。画面にバックアップの進行状況が表示されます。



書き込みが完了すると、ドライブからディスクが取り出されます。

4. ドライブからディスクを取り出し、油性のマーカーでディスクの名前を記入しておきます。



重要 : 各ディスクには、わかりやすいラベル(「Windows リカバリーディスク 1/2」や「アプリケーション/ドライバのリカバリーディスク」など)を付けてください。ディスクは安全な場所に保管し、保管した場所も覚えておいてください。

5. 複数のディスクが必要な場合は、指示があったら新しいディスクを挿入し、[OK] をクリックします。処理が完了するまで作業を続行します。

システムの復元

Gateway サポートが問題を解決できなかった場合、Gateway Recovery Management プログラムを使用できます。このプログラムは、コンピュータを購入時の状態に復元します。すべての設定と個人データを後から回復できるようなオプションもあります。

システムを復元するには :

1. ソフトウェアまたはドライバの再インストールを実行します。

ソフトウェアまたはハードウェアの１つか２つのアイテムのみが正常に作動しなくなった場合は、ソフトウェアまたはデバイスドライバの再インストールにより問題が解決する可能性があります。
プレインストールされていたソフトウェアやドライバを工場出荷時の状態に復元するには、71 ページの「プレインストールされたソフトウェアとドライバの復元」を参照してください。
プレインストールされていなかったソフトウェアやドライバを再インストールする手順については、製品のマニュアルまたはテクニカルサポートサイトを参照してください。

2. システムを前の状態に戻します。

   ソフトウェアやドライバを再インストールしても解決しない場合は、すべて正常に作動していたときの状態にシステムを戻すことにより問題が解決する可能性があります。
   手順については、73 ページの「システムを前の状態に戻す」を参照してください。

3. システムを工場出荷時の状態に戻します。

   他の方法で問題が解決せず、システムを工場出荷時の状態に戻す場合は、73 ページの「システムを工場出荷時の状態に戻す」を参照してください。

復元タイプ

プレインストールされたソフトウェアとドライバの復元

トラブル対策の手順として、コンピュータにプレインストールされていたソフトウェアおよびデバイスドライバの再インストールが必要な場合があります。ハードディスクまたは作成したバックアップのいずれかを使用して復元できます。

- 新しいソフトウェア ‐ コンピュータにプレインストールされていなかったソフトウェアを復元する必要がある場合は、そのソフトウェアのインストールの手順に従ってください。

- 新しいデバイスドライバ - コンピュータにプレインストールされていなかったデバイスドライバを復元する必要がある場合は、そのデバイスに付属するマニュアルの手順に従ってください。

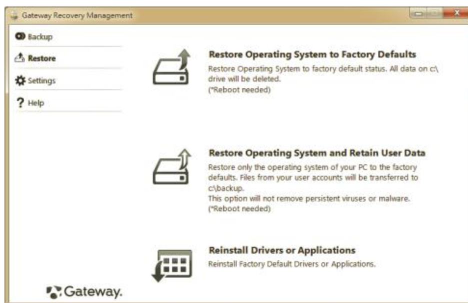
プレインストールされたソフトウェアとドライバを復元するには :

1. **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Gateway]**をクリックした後、**[Gateway Recovery Management]**をクリックします。*Gateway Recovery Management* が起動します。

- または -

ドライバとアプリケーションのリカバリーバックアップから復元する場合は、そのディスクをディスクドライブに挿入し、*[Gateway Application Recovery]*メインメニューが開いたらステップ 3 に進みます。

2. *[修復]*タブをクリックした後、**[ドライバかアプリケーションを再インストール]**をクリックします。*[Gateway Application Recovery]*メインメニューが開きます。



3. **[内容]**をクリックします。ソフトウェアとドライバのリストが表示されます。

4. インストールするアイテムの**[インストール]**アイコンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了します。再インストールする各アイテムに対してこのステップを繰り返します。

システムを前の状態に戻す

Windows のシステムの復元は、定期的にシステム設定の「スナップショット」を撮影し、復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題の場合、これらの復元ポイントの 1 つに戻し、システムを再度稼動させることができます。

Windows は、毎日、およびソフトウェアやデバイスドライバをインストールするたびに、追加の復元ポイントを自動作成します。



ヘルプ: *Windows のシステムの復元の使い方については、**[スタート]**をクリックし、**[ヘルプとサポート]**をクリックします。[ヘルプの検索]欄に「Windows システムの復元」と入力し、**Enter** キーを押します。*

復元ポイントに戻るには:

1. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[システムとセキュリティ]** > **[Action Center]**をクリックした後、**[回復]**をクリックします。
2. **[システムの復元を開く]**をクリックした後、**[次へ]**をクリックします。
3. 戻したい時点の復元ポイントをクリックし、**[次へ]**をクリックした後、**[完了]**をクリックします。確認のためのメッセージボックスが表示されます。
4. **[はい]**をクリックします。指定した復元ポイントを使用してシステムが復元されます。この処理には数分かかる場合があります。また、コンピュータの再起動が必要な場合もあります。

システムを工場出荷時の状態に戻す

他の方法では復元できない問題がコンピュータで発生した場合、すべてを再インストールしてシステムを工場出荷時の状態に戻す必要があるかもしれません。ハード

ディスクまたは作成したリカバリーディスクのいずれかを使用して再インストールできます。



注意： **この完全な復元を実行すると、ハードディスク上のすべてが削除され、Windows およびシステムにプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバが再インストールされます。ハードディスク上の重要なファイルにアクセスできる場合は、今すぐそれらをバックアップしてください。**

- まだ Windows を実行できる場合は、下記の *「Windows から復元する」* を参照してください。
- Windows は実行できないが元のハードディスクはまだ作動している場合は、75 ページの *「スタートアップ中にハードディスクから復元する」* を参照してください。
- Windows を実行できず、元のハードディスクが完全にフォーマットされているか、別のハードディスクが取り付けらている場合は、75 ページの *「リカバリーディスクから復元する」* を参照してください。

Windows から復元する

Windows およびプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには：

1. **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Gateway]** をクリックした後、**[Gateway Recovery Management]** をクリックします。*Gateway Recovery Management* が起動します。
2. **[修復]** タブをクリックした後、**[システムのデフォルトにリセット]** をクリックします。*[修復の確認]* ダイアログボックスが開きます。
3. **[はい]** をクリックした後、**[開始]** をクリックします。オペレーティングシステムの復元先のハードディスクに関する情報がダイアログボックスに表示されます。



注意： **処理を続行すると、ハードディスク上のすべてのファイルが削除されます。**

4. **[OK]**をクリックします。コンピュータを再起動することにより復元処理が開始し、ハードディスクにファイルをコピーすることにより処理が続行されます。この処理にはしばらくかかる可能性がありますが、[Gateway Recovery Management]画面に進行状況が表示されます。

復元が完了すると、コンピュータを再起動するようダイアログボックスに表示されます。

5. **[OK]**をクリックします。コンピュータが再起動します。
6. 画面の指示に従って、初回のシステムセットアップを実行します。

スタートアップ中にハードディスクから復元する

Windows およびプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには :

1. コンピュータの電源を入れ、起動中に **Alt+F10** を押します。Gateway Recovery Management が起動します。
2. **[システムのデフォルトにリセット]**をクリックします。



注意 : **処理を続行すると、ハードディスク上のすべてのファイルが削除されます。**

3. **[次へ]**をクリックします。ハードディスクの元のプレロードされていたコンテンツが復元されます。この処理には数分かかります。

リカバリーディスクから復元する

Windows およびプレインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールするには :

1. コンピュータの電源を入れ、最初のシステムリカバリーディスクを光学ディスクドライブに挿入した後、コンピュータを再起動します。



注意 : **処理を続行すると、ハードディスク上のすべてのファイルが削除されます。**

2. まだ有効になっていない場合は、*F12 ブートメニュー*を有効にする必要があります。
    1. コンピュータの起動時に **F2** を押します。
    2. 左右矢印キーを使用してメインメニューを選択します。
    3. **[F12 ブートメニュー]**が選択されるまで下向きキーを押し、**F5** キーを押してこの設定を**[Enabled (有効)]**に変更します。
    4. 左右矢印キーを使用して**[Exit]**メニューを選択します。
    5. **[Save Changes and Exit (変更を保存して終了)]**を選択し、**Enter** キーを押します。**[OK]**を選択して確認します。
    6. コンピュータが再起動します。
3. 起動中に、**F12** キーを押してブートメニューを開きます。ブートメニューを使用すると、起動元のデバイス(ハードディスクや光学ディスクなど)を選択できます。
4. 矢印キーを使用して**[CDROM/DVD]** (この行の先頭に「**IDE 1...**」が付いている場合があります)を選択した後、**Enter** キーを押します。挿入したリカバリーディスクから Windows がインストールされます。
5. 指示があったら 2 番目のリカバリーディスクを挿入し、画面の指示に従って復元を完了します。

規制について

<u>聴覚障害防止</u>

- ***注意***：*イヤフォンまたはヘッドフォンを使って長時間音楽を聴くと、聴覚障害を引き起こす原因となります。*



音量に関するご注意

聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。
- 長時間大音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に高音で音楽を聴かないでください。
- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

<u>無線機器の規定に関する情報</u>

- **注意**：*下記の規定に関する情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth が搭載されているモデルに関するものです。*

Compliance accessories

The accessories associated with this equipment are: shielded video cable when an external monitor is connected. These accessories are required to be used in order to ensure compliance with FCC rules.

<u>CALIFORNIA PROPOSITION 65 WARNING</u>

This product contains chemicals known to the State of California to cause cancer, birth

defects, and/or other reproductive harm. For additional information regarding this product warning, go to www.gateway.com/prop65.



MERCURY WARNING
THE LAMP IN THIS DISPLAY CONTAINS MERCURY. DISPOSE ACCORDING TO LOCAL, STATE, AND FEDERAL LAW.

日本 (JAPAN)

本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）住宅地域での電波障害防止を目的とした情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。このガイドの説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

ワイヤレスアダプターの規制について

米国 － FCC および FAA

FCC は ET Docket 96-8 での決定により、FCC 認定装置から放射される無線周波電磁エネルギーの人体への被曝に関する安全規格を制定しています。ワイヤレスアダプターは、OET Bulletin 65、補足 C(2001)、および ANSI/IEEE C95.1 (1992)に記載されている人体被曝制限を満たしています。このガイドに記載されている指示に従ってこの無線機器を適切に操作した場合、被曝は、FCC 勧告限度をはるかに下回ります。

- 次の安全のための注意事項を守ってください。
  ユニットが送受信を行っているときは、アンテナに触れたり、アンテナを動かしたりしないでください。
- 送信中は、無線周波数を含むパーツのアンテナが人体の露出部分、特に顔や目に接近したり触れたりするような状態で保持しないでください。
- アンテナを接続していない状態で、無線機器を操作したりデータを送信したりしないでください。無線ユニットの故障の原因になります。

特殊環境での使用:

- 危険な場所でのワイヤレスアダプターの使用は、現場の安全対策責任者が定めた制約に制限されます。
- 航空機内でのワイヤレスアダプターの使用は、連邦航空局(FAA)によって規制されます。
- 医療施設内でのワイヤレスアダプターの使用は、各施設で定められた範囲内に制限されます。

アンテナの使用

FCC RF 被曝制限に準拠するために、低ゲイン統合アンテナは、人体から 20cm (8 インチ)以上または FCC のモジュール認可条件に定められた距離以上離して設置してください。FCC 認可情報は、FCC 機器認証 Web サイト(https://fjallfoss.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm)で、モジュールラベルに印刷された FCC ID を入力することによりご覧いただけます。

爆発の危険性がある機器の接近に関する警告

警告：シールドされていない雷管の近くや爆発の危険性がある環境では、このような場所での使用に適合している場合を除き、携帯用送信機(このワイヤレスアダプターを含む)を操作しないでください。

アンテナに関する警告

- ***警告***:*FCC および ANSI C95.1 RF の被曝制限に準拠するために、デスクトップコンピュータまたは携帯用コンピュータにワイヤレスアダプターを取り付ける場合は、ワイヤレスアダプターのアンテナを人体から20cm (8 インチ)以上またはモジュール認可条件に定められた距離以上離すことを推奨します。FCC の認可情報は、FCC 機器認証 Web サイト(https://fjallfoss.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm) で、モジュールラベルに印刷されたFCC ID を入力することによりご覧いただけます。*
- ***警告***:*このワイヤレスアダプターは、高ゲイン指向性アンテナと組み合わせて使用するよう設計されていません。*

航空機内での使用に関するご注意

- ***注意：****無線周波ワイヤレス装置(ワイヤレスアダプター)の信号が重要な航空機計器と重大な干渉を起こす可能性があるため、FCC および FAA の規定により、飛行中にこれらの装置を操作することは禁止されています。*

802.11a、802.11b、802.11g、および 802.11n 無線使用に関する地域の規則

- ***注意：****802.11a、802.11b、802.11g、および802.11n ワイヤレスLAN 装置が使用する周波数は、国によってはまだ調整されていない可能性があるため、802.11a、802.11b、802.11g、および 802.11n 製品は、特定の国でのみ使用するよう設計されており、それ以外の国で操作することは認められていません。これらの製品のユーザーは、製品が意図された国でのみ使用され、使用する国に適した正しい周波数とチャンネルを選択して設定されていることを確認する責任を負います。使用する国で認められる出力および周波数の設定に従わない場合、国内法違反となり、処罰の対象となる可能性があります。*

ワイヤレスの相互運用性

ワイヤレスアダプターは、直接スペクトラム拡散(DSSS)無線技術に基づく他の LAN 製品と相互運用し、次の規格に準拠するよう設計されています。

- IEEE 規格 802.11b 準拠のワイヤレス LAN 規格
- IEEE 規格 802.11g 準拠のワイヤレス LAN 規格
- IEEE 規格 802.11a 準拠のワイヤレス LAN 規格(802.11a 対応装置に適用されます)
- IEEE 規格 802.11nドラフト 2.0 準拠のワイヤレス LAN
- Wi-Fi Alliance が定める Wi-Fi 認証

ワイヤレスアダプターと健康状態

ワイヤレスアダプターは他の無線機器と同様に、無線周波電磁エネルギーを放射します。ただし、ワイヤレスアダプターから放射されるエネルギーのレベルは、携帯電話など他のワイヤレス装置から放射される電磁エネルギーよりも低いものです。ワイヤ

レスアダプターは、無線周波に関する安全規格および勧告に定められた規定範囲内で動作します。これらの規格および勧告には、科学団体の合意と、広範な研究文献を継続的に調査および解釈している科学者の集団および委員会での審議結果が反映されています。状況または環境によっては、ワイヤレスアダプターの使用が建物の所有者または該当組織の担当代表者によって制限されることがあります。このような状況には、次の例が含まれる場合があります。

- 航空機内でのワイヤレスアダプターの使用
- その他の環境(他の装置またはサービスと干渉を起こす可能性が有害であると見なされたまたは特定された場合)でのワイヤレスアダプターの使用

特定の組織または環境(航空機など)でのワイヤレスアダプターの使用に適用されるポリシーがご不明の場合は、電源をオンにする前にアダプターの使用許可を得ることを推奨します。

FCC 無線周波数の干渉要件(802.11a 対応装置に適用)

本製品は、5.15〜5.25GHz および 5.470〜5.725GHz の周波数範囲で動作するため、使用は屋内に制限されています。同一チャンネルモバイル衛星システムに有害な障害を与える可能性を低減するために、本製品は、屋内において 5.15〜5.25GHz および 5.470〜5.725GHz の周波数範囲で使用することが FCC により義務付けられています。高出力レーダーが 5.25〜5.35GHz および 5.65〜5.85GHz 帯域の最初のユーザーに割り当てられています。これらのレーダー端末が、本装置に干渉したり損傷を与えたりする可能性があります。このワイヤレスアダプターには、FCC 規定の第 15.407 条に基づく米国内での使用に関する FCC 認可範囲を超えて動作周波数を変更するための設定は設けられていません。

米国 － FCC

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。本装置の操作は、次の 2 つの条件に従います。

- 有害な障害を起こさないこと
- 誤動作の原因となる干渉を受け入れること
- ***注意：*** *アダプターの放射出力は、FCC 無線周波被曝制限をはるかに下回ってい*

ます。しかし、アダプターをご使用になるときは、通常操作時にできる限り人体に接触しないようにしてください。FCC 無線周波被曝制限を超える可能性を防ぐために、ユーザー(または周囲にいる人)とコンピュータに組み込まれたアンテナとの距離を20cm 以上または FCC 認可条件で定められた距離以上に保ってください。許可される設定の詳細は、http://www.fcc.gov/oet/ea/ で装置の FCC ID 番号を入力することによりご覧いただけます。

干渉に関する声明

このワイヤレスアダプターは、FCC 規定の第 15 条に準じて、Class B デジタル機器の規定に準拠していることがテストされ、確認されています。これらの規定は、家庭内設置において有害な障害が起きないようにするために設けられています。このワイヤレスアダプターは、無線周波エネルギーを発生、使用し、このようなエネルギーを放射することができます。ワイヤレスアダプターの設置および使用時に指示に従わないと、無線通信に有害な障害を与える可能性があります。ただし、このような干渉が特定の設置状況で発生しないという保証はいたしかねます。このワイヤレスアダプターがラジオやテレビ受信に有害な障害を与える場合は(装置の電源をオフ/オンすることによって確認できます)、次の方法で干渉に対処することを推奨します。

- 干渉を受けている装置の受信アンテナの方向または設置場所を変える
- ワイヤレスアダプターと干渉を受けている装置との距離を広げる
- ワイヤレスアダプターが内蔵されているコンピュータを、干渉を受けている装置とは異なるコンセントに接続する
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に問い合わせる
- ***注意***：*アダプターの設置および使用時には、製品に付属のユーザーズガイドに記載されているメーカーの指示を遵守してください。それ以外の方法での設置または使用は、FCC の第 15 条の規定に違反します。*

カナダ － カナダ産業省(IC)

本製品は、カナダ産業省の RSS210 に準拠しています。

- ***注意***：*装置が IEEE 802.11a に対応し、この規格のワイヤレス LAN を使用している*

場合、本製品は、5.15～5.25GH の周波数範囲で動作しているため、使用は屋内に制限されています。同一チャンネルモバイル衛星システムに有害な障害を与える可能性を低減するために、本製品は、屋内において 5.15～5.25GHz の周波数範囲で使用することがカナダ産業省により義務付けられています。高出力レーダーが5.25～5.35GHz および5.65～5.85GHz 帯域の最初のユーザーとして割り当てられています。これらのレーダー端末が、本装置に干渉したり損傷を与えたりする可能性があります。ポイントトゥポイントの操作における 5.25～5.35GHz および5.725～5.85GHz の周波数範囲に対するE.I.R.P の制限に準拠するために、本製品で使用できる最大アンテナゲインは6dBi としています。RF 被曝要件に準拠するために、すべてのアンテナは、人体から20cm 以上またはモジュール認可条件で認められた距離以上離して設置してください。

この Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。
「ライセンスを取得したサービスに電波障害が起こらないようにするために、本製品は、屋内の窓から離れた場所で使用することにより、最大限のシールドを提供するよう設計されています。屋外に設置する装置(またはそのアンテナ)にはライセンスが必要です。」

欧州連合

適用国リスト

本製品は、使用する国の規制と制約を遵守してご使用ください。詳しい情報は、使用する国の地方事務所にお問い合わせください。最新の国リストは、http://ec.europa.eu/enterprise/rtte/implem.htm をご覧ください。

適用国一覧

この機器は次の国で使用することができます。

国名	ISO 3166 2 文字コード	国名	ISO 3166 2 文字コード	国名	ISO 3166 2 文字コード	国名	ISO 3166 2 文字コード
オーストリア	AT	ドイツ	DE	マルタ	MT	イギリス	GB
ベルギー	BE	ギリシャ	GR	オランダ語	NT	アイスランド	IS
キプロス	CY	ハンガリー	HU	ポーランド	PL	リヒテン シュタイン	LI
チェコ共和国	CZ	アイルランド	IE	ポルトガル	PT	ノルウェー	NO
デンマーク	DK	イタリア	IT	スロバキア	SK	スイス	CH
エストニア	EE	ラトヴィア	LV	スロベニア	SL	ブルガリア	BG
フィンランド	FI	リトアニア	LT	スペイン	ES	ルーマニア	RO
フランス	FR	ルクセンブルグ	LU	スウェーデン	SE	トルコ	TR

低帯域(5.15〜5.35GHz)の製品は屋内でのみ使用できます。
本製品は、欧州連合指令 1999/5/EC の必須条件に準拠しています。
「Statements of European Union Compliance」をご覧ください。詳しくは、添付の適合宣言を参照してください。

英語	日本エイサーは、本製品が指令 1999/5/EC の必須条件およびその他関連する条項に準拠していることをここに宣言します。

イタリア

本製品の使用は、次の規定によって規制されます。

1. D.L.gs 1.8.2003、n. 259、屋外使用に関する第 104 条(一般許可が必要)および屋内使用に関する第 105 条(許可不要)、どちらの場合も個人使用が対象
2. D.M. 28.5.03、一般ユーザーにネットワークおよび Telecom サービスへの RLAN アクセスを提供する場合

パキスタン

パキスタン電気通信庁(PTA)承認

モロッコ

次の都市では､無線チャンネル 2 (2417MHz)での本製品の操作は許可されていません。アガディール、アサ-ザグ、ネグロ岬、シャウエン、グルミマ、タンタン、タウリル、タルーダント、およびターザ。

次の都市では、無線チャンネル 4、5、6、および 7 (2425～2442MHz)での本線品の操作は許可されていません。ムハマンド 5 世国際空港、アガディール、Aguelmous、アンサ、Benslimane、Béni Hafida、ネグロ岬、カサブランカ、フェズ、Lakbab、マラケシュ、Merchich、モハメディア、ラバト、サレ、タンジェ、タンタン、Taounate、ティトメリル、ザグ。

日本

5GHz 帯は室内でのみ使用のこと

<u>製品の改造</u>

CE マーク

Gateway は､ユーザーが許可を受けずに行った改造と､その結果については､CE マーキングの規格への不適合が生じるため、いかなる責任も負いません。

無線周波数の干渉

メーカーは許可を得ずに Acer ノートブックを改造したことに起因する無線、または TV 干渉については、いかなる責任も負いません。

<u>接続とリモートアース</u>

PELV (保護超低電圧)

装置の超低電圧を保持するために、本線保護された電気適合する回路を備えた装置だ

けを外付けポートに接続してください。

SELV (安全超低電圧)
Acer ノートブックの入出力はすべて、SELV として分類されています。

リモートアース
感電を防止するために、すべてのローカル (個々のオフィス) コンピュータとコンピュータサポート装置は、建築物配線の同一電気回路に接続してください。不明な場合は、リモートアースを避けるために、建築物配線を確認してください。

建築物電源
装置は、お住まい国の配線規定に適合した建築物電源にのみ接続してください。イギリスには、IEE 規定があります。

<u>電源とケーブル類</u>

電源
電源の引込口とコンセント (装備されている場合) は、高電圧として分類されています。
装置を電源から外すには、電源コードを外し、バッテリーも外す必要があります。そのために、コンセントは機器の近くで、簡単に手の届く場所になければなりません。
入力レート : コンピュータの底部に記載されているレートラベルを参照して、電源アダプタが指定されたレートに適合していることを確認してください。
いかなる状況においても､ユーザーが電源を分解することはできません｡電源にはユーザーが交換できるパーツは含まれていません。電源内部には高電圧が流れており、身体に深刻な影響を与える可能性があります。
故障した電源は、販売店へお届けください。

電源ケーブルとプラグ
Acer ノートブックはアースされた 3 線電源コードとプラグを必要とします｡このプラグはアースされた電源コンセントにしか挿入できません。プラグを挿入する前に、コ

ンセントが正しくアースされていることを確認してください。プラグをアースされていないコンセントに接続することはお止めください。詳しくは、電気技師にお尋ねください。
コードの長さが 2.5 メートルを超えないようにしてください。電気的な故障を防止するために、電源コードからアース端子を外したり、これを無効にしたりしないでください。電源コードが破損した場合は、交換してください。購入すべき電源コードについては、販売店へお尋ねください。ヨーロッパにおいては、プラグは最低 250 VAC、10 amp でなければなりません。プラグには国際機関の認証マークの表示が義務付けられています。コードはエンドユーザーが使用する国の規格に準拠したものが必要です。お住まい国で使用できる電源コードのタイプについては、販売店かお近くの電気関係当局にお問い合わせください。

ケーブル

Acer ノートブックには付いていないケーブルについて：
システムの EMC 性能は、ケーブルとインターフェイスが効果的なシールドを使用している場合にのみ保証されます。
シールド付きインターフェイスケーブルは、USB、IEEE1394、シリアル、プリンタ、ゲーム、アナログ、デジタルオーディオ/ ビデオ、PS2、TV、FM アンテナ、および通常高速ケーブルインターフェイスのすべてが必要とします。
UL Listed No. 26AWG または大型の電気通信コードだけをご使用ください。
Ethernet LAN または RTC モデムケーブルに限り、3 メートルを超えることができます。
Gateway は、コンピュータと、コンピュータに付帯されていないハードウェア機器を接続する各ケーブルに、フェライト芯丸クリップを追加されるようお薦めします。

- フェライトのリファレンス：Steward の 28A-2029 (2 ループ)

製品認証の過程において、Gateway は次の品質のケーブルを使用しました。

- Hama 46778 の USB2.0 認証ケーブル
- Hama 50011 の IEEE1394 シールド付き FireWire
- Thomson KHC001M、KHC012M、KHC028M の RCA-RCA シールド付きオーディオ/ビデオケーブル

- Hama 43330H、42714H のステレオジャックシールド付きオーディオケーブル

蓄熱性ポータブルコンピュータ

長時間コンピュータをご使用になると、AC アダプターとコンピュータの底部が過熱します。いずれについても、身体の一部を触れないようにしてください。

シャーシカバーの取り外しと交換

機器を補修または改造するためにシャーシカバーを取り外す場合は、まずすべての電源コードとモデムコードを外し、バッテリーを外すか、無効にする必要があります。

- ***注意*** *: コンピュータを長時間使用すると、コンピュータ内部のいくつかのパーツが非常に熱くなります。*

機器を接続し、電源を入れる前に、筐体を閉じてください。

レーザー準拠について

光学装置は IEC60825-1、およびクラス 1 レーザー製品のためのヨーロッパ EN60825-1 規格に基づいてテストされ、認証されています。

クラス 1 レーザー製品は危険ではないとされています。クラス 1 以上のレベルの光学製品は、通常の操作または規定されたメンテナンス状況において、人体の一部がレーザー光に絶対に触れないように設計されています。

Acer ノートブックに搭載されている光学デバイスは、このような電子製品のパーツとしてのみ使用するよう設計されているため、連邦規制第 1040.10 項、および第 1040.11 項の「完全な」レーザー製品としての条件を満たしていません。

レーザー放射に触れると非常に危険であるため、いかなる状況においてもレーザー装置を解体しようとしないでください。

パッケージ

Acer ノートブックのパッケージは、1994 年 12 月 20 日よりヨーロッパ環境指令 94/62/EC に準拠しています。これは 1998 年 7 月 20 日にはフランスの法律、Decree 98-638 として制定されました。

ロシアの規定証明に準拠



環境

環境保護への取り組み
環境は弊社製品の最重要項目です。
Gateway は製品の製造から廃棄までのライフサイクルにおいて､その製品が環境に与える影響を最小限に留めることに責任を負っています。
設計段階から厳格な仕入れ方針に従い、リード、カドミウム、クロミウム、水銀などの重金属の比重を制限するために、電子パーツには細心の注意を払っています。使えなくなった製品については、全製品が再利用されることを前提として、積極的に再利用を促進しています。Gateway 製品に使用される､25 グラム以上の重さのプラスチックパーツにはすべて、ISO 11469 ラベルが表記されています。このラベルが付いていることで素材をすばやく識別することが可能となり、価格設定が容易になります。同様にデスクトップコンピュータにはネジの代わりにクリップを使用することで、簡単に解体できるように設計されています。

製品の廃棄
廃電子・電気機器(WEEE) 指令として知られる 2002/96/EC 指令は､再利用､リサイクル､その他の形での復元を促進し､埋立てゴミやゴミ焼却を減らすことで廃棄物の量を削減することを目指し､使用済みの電子機器および電気機器は､通常の家庭ゴミとは分別して廃棄すべきであることを要求しています｡X 印がついたゴミ箱の記号が表示されている場合は､それらの製品は分別して廃棄しなければならないことを意味しています。これらの規則は Gateway 製品およびアクセサリ類(キーボード、マウス、スピーカー、リモコンなど)すべてについて適応されています。このような製品を廃棄する場合は、お住まい地域の関係当局にお問い合わせになり、正しい方法で処理してください。また製品を新しく交換する場合は、販売店に古い機器を引き取ってもらってください。詳しくは、www.gateway.com/about/corp_responsibility/environment.php




をご覧ください。

バッテリーの廃棄 (該当する場合)

機器を廃棄する前に、機器に装着されているバッテリーをすべて外してください。欧州法では、バッテリーは家庭ゴミとは分けて処理することが義務付けられています。使用済みのバッテリーは絶対にゴミ箱に捨てないでください。使用済みのバッテリーを回収する方法があれば、その方法に従ってください。または販売店やお住まい地域の関係当局にお問い合わせください。1 人 1 人のわずかな努力で、使用済みバッテリーの安全な回収、リサイクル、廃棄が可能になるのです。また環境保護に役立つだけでなく、健康への影響も低減することが可能になります。

- ***注意*** *:バッテリーは正しいタイプのものを使用しなければ、爆発する恐れがあります。使用済みバッテリーは、指示に従って正しく行ってください。*

水銀に関する注意



非 LED バックライト LCD/CRT モニタまたはディスプレイを含む電子製品の場合：この製品に使用されるランプには水銀が含まれているため、お住まい地域、都道府県、国の法律に従って、正しくリサイクルまたは廃棄しなければなりません。詳しくは、Electronic Industries Alliance (www.eiae.org) へお問い合わせください。またランプの処理については、www.lamprecycle.org を参照してください。

ENERGY STAR



Gateway の ENERGY STAR 準拠製品は、機能や性能を損なうことなく消費電力を抑え、環境を保護します。Gateway は、ENERGY STAR ロゴ付き製品を自信を持ってお客様に提供しています。

ENERGY STAR って何?

ENERGY STAR 規格に準拠した製品は、米国環境保護庁が定めた厳しいエネルギー効果指南を遵守し、消費電力を減らして温暖化ガスの発生を抑えます。Gateway は、お

客様の費用とエネルギーの節約および環境の質の向上に役立つ製品とサービスを世界各地に提供できるよう努力しています。エネルギー効果を高めることで節約できるエネルギーが多いほど、温暖化ガスの発生と気候変動の危険性を減らすことができます。詳しくは、www.energystar.gov または www.energystar.gov/powermanagement をご覧ください。

- *(特定のモデルのみ)*

Gateway ENERGY STAR 準拠製品：

- *発熱量が少ないため、地球の温暖化における冷却量が少なくなります。*
- *コンピュータが無作動の状態が一定時間続くと、自動的にディスプレイが10 分後に「スリープ」モードに、コンピュータが30 分後に「スリープ」モードになります。*
- *キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、「スリープ」モードから復帰します。*
- *「スリープ」モード時には、エネルギーを80% 以上節約できます。*

ENERGY STAR および ENERGY STAR ロゴは、米国の登録記号です。

ソフトウェアライセンス

- *注意：ほとんどのソフトウェアアプリケーションは、Gateway コンピュータにプレインストールされています。これらはすでに使用、またはセットアップする準備ができています。ただし、中には CD や DVD を使って起動しなければならないものもあります。これらのディスクは、コンピュータのパッケージに含まれています。*

Gateway ライセンス同意書(CD や DVD 製品)。このオリジナルのコピーは、ライセンスを証明するものです。大切に保管してください。

重要！

ソフトウェアをインストールする前に、同意書を最後までよくお読みください。

次のライセンス同意書がお客様に適用されます。これはお客様(個人のお客様または法人のお客様)と Gateway の間で締結される、正式な同意書です。ソフトウェアをインストールすると、お客様はこの同意書の条件に同意されたものとみなされます。この同意書の条件に同意いただけない場合は、直ちにコンピュータシステム、未開封のソフトウェアパッケージ（付帯されている場合)、付属の素材(文書やその他の梱包材料を含みます) のすべてを購入された販売店へ返却し、全額を払い戻してもらってください。

GATEWAY ソフトウェアライセンス

1. ライセンス許諾

この Gateway ライセンス同意書(以下「ライセンス」と称します)は、上記に示した、指定されたバージョンの Gateway ソフトウェア(1 枚以上の CD や DVD ディスクに含まれているもの)のコピー1 つを 1 台のコンピュータ上で使用すること、提供されたソフトウェアは常に 1 台のコンピュータでのみ使用することを許諾します。ソフトウェアの複数のライセンスを所有される場合は、ライセンスの数だけソフトウェアのコ

ピーをいつでも使用することができます。ソフトウェアがテンポラリメモリ(RAM など) に読み込まれた状態、またはコンピュータの永久メモリ(ハードディスク、CD、DVD など)、またはその他の大容量保存装置にインストールされた状態を「使用中」の状態であるとします。ただし他のコンピュータへ配布することだけを目的として、ネットワークサーバー上にインストールされた 1 部のコピーは「使用中」とはみなされません。予想されるソフトウェアのユーザー数が取得したライセンスの数を超える場合は、相当のメカニズムを用意するか、あるいは一度にソフトウェアを使用するユーザーの数がライセンスの数を超えないようにしなければなりません。ソフトウェアがコンピュータ(ネットワークサーバー以外)のハードディスク、または大容量保存装置に永久にインストールされており、ソフトウェアの全体の使用時間の 80%以上をそのコンピュータのユーザーの 1 人が使用する場合は、そのユーザーはソフトウェアとポータブルコンピュータまたは自宅のコンピュータでも使用することができます。

2. 著作権

ソフトウェアの所有権は Gateway またはそのサプライヤーにあり、米国著作権法と国際条約の規定により保護されています。したがってソフトウェアは他の著作権保護された素材(書籍や音楽など) と同様に取り扱わなければなりません。ただしソフトウェアの CD または DVD ディスクがある場合は、オリジナルコピーをバックアップまたはアーカイブの目的にのみ維持することを条件に、1 台のハードディスクに移動することができます。ソフトウェアの CD および DVD ディスク、ソフトウェアに付帯される文書をコピーすることはできません。

3. その他の制限

ソフトウェアを貸与またはリースすることはできませんが、ソフトウェアと付属の文書を永久に譲渡することはできます。その場合は、ソフトウェアと付属の文書のコピーをすべて廃棄し、また譲渡される人がこの同意書の条件に同意しなければなりません。ソフトウェアを逆エンジニア、逆コンパイル、解体することはできません。ソフトウェアの譲渡には、最新のアップデートと古いバージョンすべても含まれます。

サードパーティのソフトウェアまたはフリーソフトウェアのライセンス

Gateway により、製品にプレロード、組み込み、または配布されたソフトウェアには、

一般公衆利用許諾契約書(以下「GPL」と称します)の条件の下にライセンスされたフリーソフトウェアやサードパーティのソフトウェア(以下「フリーソフトウェア」と称します) が含まれます。フリーソフトウェアにはその旨記載されています。フリーソフトウェアをコピー、配布、改変する場合は、GPL の条件に従う必要があります。
フリーソフトウェアには、商用性または特定の目的への適合性について黙示の保証を含め、いかなる保証も提供されません。常に一般公衆利用許諾契約書の条項が適用されます。一般公衆利用許諾契約書のコピーは、http://www.gnu.org から取得できます。
またはフリーソフトウェア財団へコピーの送付を依頼することもできます。フリーソフトウェア財団の所在地 : 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA, 02111-1307, USA.
このソフトウェアを受領してから 3 年以内は、弊社へ文書で依頼することにより、一般公衆利用許諾契約書の条件に基づいて、メディア費用、送料、取り扱い料を除き、コンピュータが読み取ることが可能なフリーソフトウェアのソースコードの完全なコピーを無償で取得することができます。
ご質問がある場合は、弊社までお問い合わせください。所在地 : 8F, 88, Sec. 1, Hsin Tai Wu Rd., Hsichih, New Taipei City 221, Taiwan

索引